赤村 公共施設等個別施設計画

令和3年3月



目 次

第	1	1章 計画策定の背景と目的等・・・・・・・・	•		•	•	•	•			• 1
	1	1 背景と目的									
	2	2 計画の位置付け									
	3	3 計画の対象期間									
	4	4 計画の対象施設									
Ante	_	• • • • • • •									4
弗		2章 基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	•	•	•	•	•	•	•	- 4
	1										
	2										
	3										
	4	4 対策の優先順位の考え方									
第	3	3章 施設類型別の個別施設計画表・・・・・・									- 11
	1	1 村民文化系施設									
	2	2 社会教育系施設									
	3	3 スポーツ・レクリエーション系施設									
	4	4 產業系施設									
	5	5 学校教育系施設									
	6	6 保健・福祉施設									
	7	7 行政系施設									
	8	8 公園									
	9	9 その他									
笙	1	4章 計画期間内における対策費用の試算・・・・									- 61
Ж	1										O,
		・									
	_	2 为术员用以允定开足									
第	5	5章 継続的運用方針・・・・・・・・・・・	•		•	•	•				- 68
	1	1 情報基盤の整備と活用									
	2	2 推進体制の整備									
	3	3 フォローアップ									

第1章 計画策定の背景と目的

1 背景と目的

本村では、高度経済成長期や多様化する行政へのニーズに合わせて、多くの公共施設及びインフラ施設(以下、「公共施設等」という。)を整備してきました。これらの公共施設等は、本村のむらづくりにおいて、村民生活の基盤や地域コミュニティの拠点として、重要な役割を果してきたところです。

しかし、これらの公共施設等の老朽化が進んでおり、日常の維持管理に加えて、 今後は大規模改修や建て替え、更新などに多額の資金が必要となることが予想されます。さらに、人口構成の変化等に伴い、公共施設等へのニーズが変化することも予想されます。長期的な視点でこれら公共施設等の更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担の軽減・平準化を図り、公共施設等の最適配置を実現する必要があります。

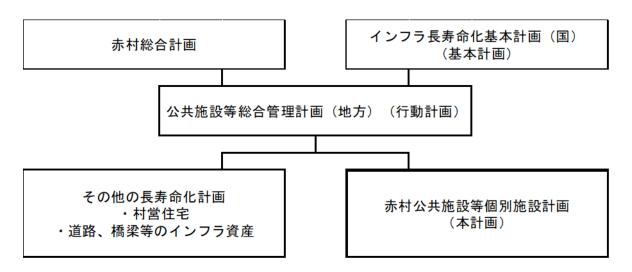
そのため、平成28年度に「赤村公共施設等総合管理計画」を策定し、公共施設等の実態を把握し、人口動態や今後の財政状況等を踏まえつつ、公共施設等の 在り方及びマネジメントに関する基本方針・基本計画を示してきました。

本計画は、「赤村公共施設等総合管理計画」に定めた方針等を踏まえて、個別施設ごとの方向性やあり方を検討し、中長期的な視点に立った施設の適正化と効率的な管理運営を行うことで、財政負担の軽減及び平準化につながることを目的として策定するものです。

2 計画の位置付け

本計画は、平成29年3月に策定した「赤村公共施設等総合管理計画」による 計画策定要請を受け、本村の公共施設等の今後の在り方について基本的な方向性 を示すものとして位置付けます。

また、「赤村総合計画」を含めた村の関連計画との整合を図るとともに、分野横断的に施設面における基本的な取組の方向性を示すものでもあります。



3 計画の対象期間

本計画の計画期間は、「赤村公共施設等総合管理計画」に合わせ、令和2年度 から令和17年度までの16年間とします。

ただし、施設の状態や、歳入・歳出の状況、社会情勢の変化及び、国の補助制度の変更等の動向によって、適宜見直しを図っていきます。

4 計画の対象施設

本計画で対象とする施設は、村有財産の中で、公共施設(公共建築物)を対象とします。道路、橋梁、水道等のインフラ施設及び別途長寿命化計画を策定する施設は対象外とします。具体的な対象施設の一覧は以下の通りです。

表 1

大分類	小分類	資産名称	建設年度	面積
		浦山集会所	1977	89
		横通り・大原集会所	2007	132. 7
		下赤集会所	2007	257. 62
		見取集会所	1995	139. 45
		後山集会所	1992	150
		合田地区集会所	1976	142. 2
		山渋集会所	1979	132
		小内田多目的集会所	1983	220. 14
		外山団地集会所	2014	99. 37
		小柳団地集会所	1981	66. 25
	集会所	小柳地区集会所(県道沿い)	1972	70. 6
		上赤浦田集会所	1975	88. 35
村民文化系施設		上赤集会所	1986	273. 12
		前ガ原教育集会所	1972	132
		前ガ原集会所	2008	230. 12
		地蔵の木珠数丸集会所	2006	155. 16
		畑地区集会所	1971	117. 29
		伏原集会所	2005	104. 88
		柳場地区集会所	1976	118. 2
		月見ガ丘団地集会所	2015	99. 37
		相模団地集会所	2019	111. 49
	赤村住民センター(集会所)	1984	1657. 34	
	赤村住民センター(集会所)	機械室(棟)	1984	123
		研修室	2002	283
	研修センター	大内田研修センター	2009	208. 37
社会教育系施設	赤村住民センター(図書室)	赤村住民センター(図書室)	2000	
		コミュニティ広場 休憩棟	1984	64
		コミュニティ広場 倉庫	1984	5
	コミュニティ広場	コミュニティ広場 便所	1998	
		コミュニティ広場 屋外倉庫	2015	98. 69
	健康増進センター	赤村健康増進センター	1994	1217
	楠ノ木運動公園	楠ノ木運動公園	2001	44
		都市交流センター『ほたる館』	1991	1378
		自然学習村源じいの森(多目的ホール)	1991	228
 スポーツ・レクリエーション系		ログハウス	1991	222
施設		ガーデンホーム	1991	78
		レクリエーション休憩施設	1991	132
		倉庫	1991	48
	自然学習村源じいの森	便所	1991	20
		シャワー室	1991	40
		光の塔	1991	43
		定住促進センター	1991	368
		作業棟	1991	21
		簡易作業棟	1991	30

大分類	小分類	資産名称	建設年度	面積	
		バンブーシャワーガーデン ふるさとセンター	1998	2324. 23	
	バンブーシャワーガーデン	1998	359		
		バンブーシャワーガーデン 井水滅菌室	1999	14	
スポーツ・レクリエーション系		グリーンシャワーガーデン ログハウス	1996	142	
施設		グリーンシャワーガーデン ポンプ小屋	1996	(
	グリーンシャワーガーデン	グリーンシャワーガーデン バンガロー	1996	189. 12	
		グリーンシャワーガーデン 簡易作業施設	1996	30	
		グリーンシャワーガーデン 便所	1996	15	
	共同育苗施設	赤村共同育苗施設	1992	1041	
産業系施設	農畜産物処理加工施設	農畜産物処理加工施設	2002	711	
	V + 11 + 12	倉庫 大大火 大	2002	85	
	米麦共同乾燥調製施設	赤村米麦共同乾燥調製施設	1986	1411	
		赤小学校 校舎	1989	2955	
		赤小学校機械棟	1989	49	
	小学校	赤小学校 倉庫(屋内相撲場横)	1989	52	
		赤小学校 便所(運動場内)	1985	19 1323	
		赤小学校 屋内運動場	2000 1992		
学校教育系施設		赤小学校上赤分校 赤中学校 校舎		365 1870	
		赤中学校 校舎 (特別教室)	1972 1993	365	
	中学校	赤中学校 校告(特別教主)	1997	1738	
			2009	257	
	赤中学校 校舎(技術・家庭科室) 赤中学校 倉庫(ポンプ小屋)		1972	6	
	<u></u> 給食施設	共同給食センター	2011	1056. 9	
	高齢者能力活用センター	赤村高齢者能力活用センター(赤駅含む)	2002	182. 98	
	保健センター	保健センター	1994	986. 4	
	赤村人権福祉センター	赤村人権福祉センター	2002	299. 51	
	列門 八曜 田 位 こ フ グ	合田地区納骨堂	1970	36	
		前ケ原地区納骨堂		36	
保健・福祉施設		柳場地区納骨堂	1973 1981	16. 5	
	納骨堂	伏原地区納骨堂			
	山渋地区納骨堂		2006 1981	25 16. 5	
		浦山地区納骨堂	1975	36	
	高齢者ふれあいセンター	高齢者ふれあいセンター	2000	78. 8	
	(0.10 ± A	赤村役場庁舎	1984	1284. 19	
	役場庁舎	赤村役場 倉庫	1984	428. 88	
		第1分団 消防格納庫	1987	53. 82	
		第2分団 消防格納庫	2006	75. 53	
行政系施設	2.4. Urt. +40. 6.4. Urt.	第4分団 消防格納庫	2013	75. 53	
	消防格納庫 	第5分団 消防格納庫	2009	75. 53	
	第6分団 消防格納庫		1992	50. 03	
		第7分団 消防格納庫		75. 53	
	災害備蓄倉庫	赤村災害備蓄倉庫	2014	350	
		琴弾の滝公園 公衆便所		4. 97	
公園	その他	今川公園 公衆便所	2000	4. 97	
		戸城山森林公園 公衆便所	1987	6	
		旧第4分団 消防格納庫	1978	52. 78	
	旧消防格納庫	旧第5分団 消防格納庫	1978	52. 78	
		旧第7分団 消防格納庫	1978	52. 78	
		赤村特産物センター 便所棟	1998	19	
		赤村特産物センター ログハウス棟	1998	- 68	
その他		赤村特産物センター 特産物販売所棟	1998	51	
27/2	特産物センター	赤村特産物センター 休憩所「とことん」	2009	88	
		赤村特産物センター 漬物小屋	2012	2	
		赤村特産物センター 身障者トイレ 200		5. 89 148	
		赤村農と食の交流館	2004		
	源じいの森駅便所	源じいの森駅便所	1994	Į.	
	油須原駅便所	油須原駅便所	1999	16	

※施設一覧は令和元年度末時点の固定資産台帳を基に作成しています。

第2章 基本方針

1 計画の基本方針

本計画の基本方針は、赤村公共施設等総合管理計画の「公共施設等の管理に関する基本的な考え方」に基づきます。

今後、老朽化した施設の更新需要が高まっていく中、公共施設を質と量の両面で考える必要があります。必要な公共施設が十分にサービス提供できるように、将来の改修、更新時期を判断するための見通しを立てていきます。また、保有総量の適正化を図ることで、維持、改修、更新に係る費用を縮減し、機能、利便性等の公共サービスの質の向上を図っていくことを基本方針として取り組みます。

(1) 安全性の確保

将来、高齢者の人口割合が増加することが予想されるため、バリアフリー化の 充実及びユニバーサルデザインの活用を図ります。また、優先度、利用度、需要 度の高い施設または施設内の設備については、重点的に耐震化や落下防止策を講 じていきます。

(2) 適切な維持管理

損傷が軽微である早期段階に予防的な修繕等を実施することで機能の保持・回復を図る「予防保全型維持管理」の導入を検討し、最終的なトータルコストの縮減を図っていきます。

また、予防保全型維持管理を実施するためには、定期的な施設点検が必要になります。法律に定められた点検(法定点検)は実施してきましたが、日常的に行う点検(日常点検)、機器等の性能維持のために行う点検(定期点検)は十分に出来ていない状況です。今後は法定点検を含め、これらの点検と診断を実施することで、早期に状態を把握し予防保全につなげることができ、適切な公共施設の維持につながることになります。

(3) 適切な施設の統廃合の推進

将来的に現有施設の総延べ床面積を5%程度削減することを目標に人口形態 や赤村総合計画等、村民や利用者のニーズに沿った施設配置を行っていきます。

また、単純に廃止するのではなく、他自治体と連携した施設の活用や共同運用の可能性を検討し、民間活力の導入等により、費用対効果の高い新しい技術を積極的に活用するよう努めます。

公共施設の統廃合については、村民や議会との合意形成をしっかりと行った上で、実施していきます。

2 目標使用年数

本計画では、公共施設の更新時期に目安を付け、使用期間の終わりを見据えた改修を実施したり、適切に更新需要に対応したりするため、施設の目標使用年数を表2の通り定めます。目標耐用年数については、「建築物の耐久計画に関する考え方」を参考に目標耐用年数の範囲の中間年数を採用しています。

表 2

建物の構造	目標耐用年数の	目標耐用年数	法定耐用年数
	範囲		
鉄骨鉄筋コンクリート造、	50~80年	65 年	47~50 年
鉄筋コンクリート造			
鉄骨造	50~80年	65 年	31~38 年
コンクリートブロック造			
軽量鉄骨造、木造、その他	30~50年	40 年	15~24 年

現在、税法上の法定耐用年数は、鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造は 47~50年、重量鉄骨造は 31~38年としています(施設の使用目的によって同じ構造でも法定耐用年数は変化します)が、これは税務上の減価償却費を算定するためのものであるため、物理的な耐用年数はこれとは異なり、適切な維持管理がなされ躯体が健全で強度が確保される場合は、より長く使用できるとされています。

3 維持管理の方針について

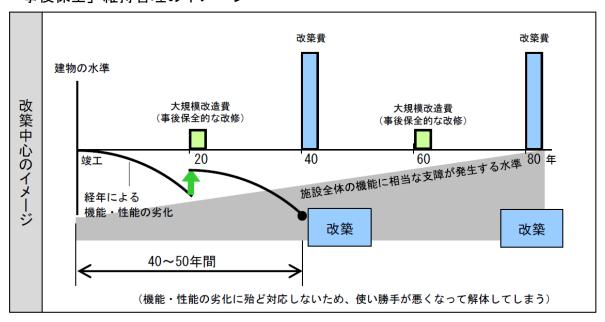
(1)維持管理方針

基本的な方針の中で「適切な維持管理」と定めていますが、現状では利用者等からの報告が発生してから対応しているため、場当たり的な修繕や改修等といった「事後保全」による維持管理がほとんどの場面で行われています。この方法では上記の目標耐用年数を迎える前に施設が使用不可能になる場合や、より高額な費用が必要となる場合があります。

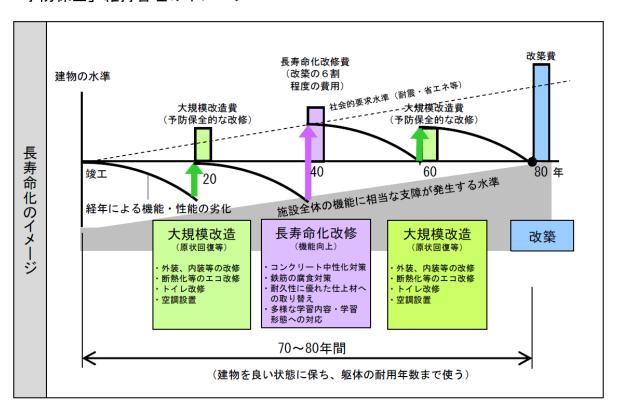
これらを避けるためにも、施設に不具合が生じる前に行う「予防保全」の考え方 を取り入れ、各公共施設の在り方に沿って、予防保全と事後保全をバランスよく実 施していくことを目標とします。

事後保全と予防保全のイメージについては次項に表3として記載しています。

表3 「事後保全」維持管理のイメージ



「予防保全」維持管理のイメージ



文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定の手引きと解説」より作成

(2) 点検と診断

本計画の策定においても、現状把握の点検、診断を行いましたが、施設の本来の性能を維持するためには、施設の劣化の兆候や不具合を出来るだけ早期にかつ正確に把握して、適切な対応を行うことが必要です。

施設管理者は、これまでも、法律に定められた点検(法定点検)を実施してきましたが、日常的に行う点検(日常点検)、機器等の性能維持のために行う点検(定期点検)は十分に出来ていない状況です。今後は法定点検を含め、これらの点検と診断を実施することが、安全性の確保という観点からも重要になってきます。

しかし、点検などで得られた情報から、劣化の程度やその影響を診断するためには、建築や設備などの専門的な知見が必要です。そのため、点検結果の活用や点検と診断への技術職員のかかわり方を工夫したり、劣化の判断につながるような日常 点検を簡単に行えるマニュアルを作成したりすることで、専門的な視点を補いながら、効率的で効果的な点検と診断を実施します。

(3) 改修等の時期の対応方針

改修等の時期の対応方針は、建築後の経過年数に応じて、表 4 のとおり設定します。

表 4

建築後経過年数	対応方針
30 年未満	主要部位・設備等の定期的な修繕・更新等に力点を置いて
	対応し、目標使用年数まで使用します。
30 年以上	建築後おおむね 30~40 年の建物については、劣化状況等
40 年未満	を踏まえて、適宜、大規模改修等を検討します。
40 年以上	建築後おおむね40~50年の建物については、劣化状況等
	を踏まえ、需要があり健全な建物については、長寿命化改修
	を検討・実施します。長寿命化改修を実施する場合は、基本
	的には建築後 45 年頃までに検討し、その後、目標使用年数
	まで使用します。

4 対策の優先順位の考え方

公共施設で提供される行政サービスが、国の制度等で定められており行政が実施 しなければならないものか (義務的視点)、民間でも実施可能であるか (市場的視 点)、村の総合計画で位置付けた将来像の実現や重点目標の達成に資する取組・事 業であるか (政策的視点) などにより施設整備の優先順位を定めます。

また、優先すべき工事の決定については、建物性能、利用状況及び管理運営コストなどの要素並びに施設保有の見直し状況等の観点から総合的に判断し、各施設所管課による劣化診断(目視点検等)を実施することにより、日々最新の情報を管理していきます。

なお、現状で既に安全性が損なわれている建物や大きな機能低下が発生している 建物については、設定した改修周期に到達していない場合であっても優先的に改修 を実施します。

優先順位検討の際に必要な視点(例)

視点	優先順位を高める主な要因
物理的	放置しておくと利用者に直接・間接の物理的被害や大きな施設の減失が 予見されるもの 例)外装材落下の危険性、消防設備の不備等 敷地周辺に悪影響(騒音・振動・著しい美観の喪失等)を与えており、 解消が求められるもの 例)空調外部機器の劣化による騒音
	改修により長寿命化が明らかに見込まれるもの 例)屋根防水の改修、外壁のひび割れ補修、外壁塗装、建具廻りの防水及び鉄骨 の塗装などの躯体の構造的強度低下を防ぐために行う改修
機能的観点	設置当初の本来の要求事項が満たせなくなっており、解消が求められる もの 例)建具不良による立ち入り不可能な室、設備機器の故障による機能の支障等災 害発生時を想定し健全な状態を特に維持しておくことが必要と判断される もの
経済的 観点	予防保全により、将来のライフサイクルコストの低減が見込まれる状況 にあるもの 例)鉄筋の露出などがあり、放っておくと大きな機能低下が起こり大規模な改修 が必要となることが予見されるもの
社会的	住民ニーズの変化により新規整備、増改築又は用途転用が必要なもの 少子高齢化等に伴い利用者の安全性・利便性を確保するための改修が必 要なもの 例)スロープの設置、段差の解消、エレベーターの設置など 環境負荷低減に貢献するもの 例)LED 電灯への交換、負荷の少ない熱源機器への交換など

今回の計画では、表5のとおり対象施設の保全の優先度や方向性について整理するものとします。施設の劣化度や有効利用度等をもとに評価を行い、施設ごとの今後の個別方針(案)を設定します。その後、住民や議会等と合意形成を得て方針決定を行い、予算確保、実施と進めていきます。

表 5

	一次評価 (劣化度)	建物の劣化状況を2段階で判定しています。 ①経過年数による評価 ②面積が200㎡以上の建物については、現地調査による評価を 併せて実施しています。			
個		評価方法は下に記載しています			
別	∇				
施設	二次評価(重要度)	他施設や民間などにより代替が効く建物かどうか、災害時の避 難所として使用されているかなどの観点を総合的に判断し評価 しています。			
計		A 代替不可能、避難所、村が運営する必要性が高い施設など			
画		B 必要性が高い施設であるが、稼働率が低い施設など			
	∇	C 代替可能な施設が他にある、村が運営する必要性が低いなど			
	個別方針	上記評価をもとに計画期間内の方針及び、今後の整備方針の設 定を行います。			
		'			

※一次評価の評価方法について

①経過年数による評価は以下の基準に基づいています。 (目標使用年数は第2章.2の表2に準じます。)

評価 目標使用年数が 65 年の建物		目標使用年数が 40 年の建物
Α	経過年数が 20 年未満の建物	経過年数が 15 年未満の建物
В	経過年数が 20 年以上 40 年未満の建物	経過年数が 15 年以上 30 年未満の建物
С	経過年数が 40 年以上の建物	経過年数が 30 年以上の建物

②面積が 200 ㎡以上の建物について実施する現地調査による評価は以下の基準に基づいています。

評価基準

劣化状況の評価基準は、屋根・屋上、外壁は目視状況により、内部仕上げ・電気設備・機械設備は、部位の全面的な改修年からの経過年数を基本にA、B、C、Dの4段階で評価します。

目視による評価【屋根・屋上・外壁】

	評估	基準
良好	A	概ね良好
1	В	部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)
	С	広範囲に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)
		早急に対応する必要がある
		(安全上、機能上、問題あり)
劣化	; D	(躯体の耐久性に影響を与えている)
		(設備が故障し施設運営に支障を与えている) 等

経年劣化による評価【屋根・屋上・外壁】

	評価	基準
良好	Α	20年未満
1	В	20~40年
	С	40年以上
劣化	D	経年劣化に関わらず著しい劣化事象がある場合

各建物の5つの部位について劣化状況を4段階で評価し、100点満点で数値化した評価指標です。①部位の評価点と②部位のコスト配分を下表のように定め、③ 健全度を100点満点で算定しました。

①部位の評価点

	評価点
Α	100
В	75
С	40
D	10

②部位のコスト配分

	部位		コスト配分
1	屋根•屋上		5. 1
2	外壁		17. 2
3	内部仕上げ		22. 4
4	電気設備		8
5	機械設備		7. 3
		計	60

3算定式

総和(部位の評価点×部位のコスト配分)÷ 60

文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」より作成

第3章 施設類型別の個別施設計画表

1 村民文化系施設

(1)建物状況一覧表

施設名		浦山绚	集会所		所在地	赤	村大字赤49	980	
建物名		浦山集会所				人権	・同和対象	策室	
面積	8	89 ㎡ 構造				コンクリー	トブロック	7	
建築	年度	F度 1977			圣過年数	4	3		
使用目	標年度	標年度 2042			経過年数	5	58		
耐震	基準	田	耐震	診断	未済	耐震	エ事	未済	
级 '	- L フ =亚/エ		200 m² J	以上の現地	調査によ	る評価		重要性	
経過年数日	-よる計1111	計価 合計 屋根・屋上		外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住	
(3			-	-	-	-	В	

施設名		上赤浦田	田集会所		所在地	赤	村大字赤64	135
建物名		上赤浦田集会所				人権	• 同和対	策室
面積	88.	35	m [*]	構造	11	コンクリー	トブロック	7
建築	年度	丰度 1975			圣過年数	4	5	
使用目	標年度	票年度 2040			経過年数	6		
耐震	基準	IΒ	耐震	診断	未済	耐震	エ事	未済
奴语左 粉巾	- L Z =11/14		200 m² J	以上の現地	調査によ	る評価		重要性
在迥十致い	年数による評価 合計 屋根・屋上		外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安は	
	С -		_	<u>_</u>	_	_	_	В

施設名		合田地区	区集会所		所在地	赤村	大字赤433	33-2		
建物名		合田地区集会所				人権	• 同和対	同和対策室 ブロック		
面積	142	2. 2	m [*]	構造	11	コンクリー	トブロック	7		
建築	年度	19	76	R2時点約	圣過年数	4	4			
使用目	標年度	標年度 2041			経過年数 59					
耐震	基準	田	耐震	診断	未済	耐震	エ事	未済		
経過年数に	- L Z = 17.145		200 m² J	以上の現地	調査による	る評価		重要性		
在週十数、	こよる計画	合計 屋根・屋上		外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住		
(0			_	_	_	_	В		

施設名		柳場地區	区集会所		所在地	赤村	大字赤696	62-1	
建物名		柳場地区集会所				人権	・同和対象	事未済重要性	
面積	118	3. 2	m [*]	構造	11	コンクリー	トブロック	7	
建築	年度	19	76	R2時点約	圣過年数	4	4		
使用目	標年度	標年度 2041			経過年数	5			
耐震	基準	旧	耐震	診断	未済	耐震	エ事	未済	
级`风左****·	- L フ = 17./1年		200 m² J	以上の現地	調査による	る評価		手曲州	
在迥牛致い	対による評価 合計 屋根・屋上		外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住		
	С – –		_	_	_	_	_	В	

施設名		畑地区	集会所		所在地	赤木	大字赤518	36-9		
建物名		畑地区集会所				人権	• 同和対	策室		
面積	117	. 29	m [*]	構造	=	コンクリー	人権・同和対策室 ンクリートブロック 49 64 耐震工事 未済 評価 重要性			
建築	年度	19	71	R2時点約	圣過年数	4	9			
使用目	標年度	年度 2036			経過年数	6				
耐震	基準	IΒ	耐震	診断	未済	耐震	工事	未済		
级、四 / 工 米+ 1	- トス記/平		200 m ² .	以上の現地	調査によ	る評価		手曲州		
	こよる評価	合計 屋根・屋上		外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住		
	С –		-	-	_	-	_	В		

施設名		伏原复	集会所		所在地	赤村:	大字内田14	134-2	
建物名		伏原集会所				人権	• 同和対	事 -	
面積	104	. 88	m [*]	構造		木	造		
建築	年度	丰度 2005			圣過年数	1	5		
使用目	標年度	20	45	R17時点	経過年数	3			
耐震	基準	新	耐震	診断	-	耐震	工事	_	
経過年数に	- L Z = 17.145		200 m² J	以上の現地	調査による	る評価		重要性	
在週午数八	こよる計画	合計 屋根・屋上		外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安は	
Į.	A			_	ı	_	-	В	

施設名		山渋隻	集会所		所在地	赤村	大字赤806	65-2
建物名		山渋集会所				人権	・同和対象	策室
面積	13	32	m ^²	構造	=	コンクリー	トブロック	7
建築	年度	19	79	R2時点約	圣過年数	4	1	
使用目	標年度	標年度 2044			経過年数	5		
耐震	基準	IΒ	耐震	診断	未済	耐震	工事	未済
经证在粉点	- L フ = 17./1年		200 m² J	以上の現地	調査による	る評価		手曲州
在迥牛致い	経過年数による評価 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一		屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	重要性
С		_	_	_	_	_	_	В

施設名		小柳団均	也集会所		所在地	赤村カ	大字内田22	89-59
建物名		小柳団地集会所				人権	• 同和対	策室
面積	66.	66. 25 m [*] 構				コンクリー	トブロック	7
建築	年度	手度 1981			圣過年数	3	9	
使用目	標年度	票年度 2046			経過年数	5		
耐震	基準	IΒ	耐震	診断	未済	耐震	工事	未済
经、图 左 **** 1:	- L フ = 17./1年		200 m ² .	以上の現地	調査による	る評価		重要性
栓迥牛致I.	F数による評価		外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住	
E	В – –		_	_	-	_	_	В

施設名	小柳	地区集会所	沂(県道沿	(')	所在地	赤村	大字内田	2363	
建物名	小柳	小柳地区集会所(県道沿い)				人権	• 同和対	策室	
面積	70	70. 6 m²				鉄帽	鉄骨造		
建築	年度	19	72	R2時点約	圣過年数	4	8		
使用目	標年度	20	37	R17時点	圣過年数 63				
耐震	基準	IΒ	耐震	診断	未済	耐震	工事	未済	
奴 海左粉1:	- L Z = 17.145		200 m² J	以上の現地	調査による	る評価		重要性	
社週 十数1	による評価 合計 屋根・屋上		外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里女に		
(С – –		_	ı	ı	ı	A		

施設名		小内田多目	目的集会所		所在地	赤村	大字内田4	45-5	
建物名		小内田多目的集会所				j	産業建設課	ļ.	
面積	220	. 14	m ^²	構造		木	造		
建築	年度	年度 1983			圣過年数	3	7		
使用目	標年度	20	23	R17時点	経過年数	5	37 52 耐震工事		
耐震	基準	新	耐震	診断	_	耐震	工事	_	
级 '	- L フ = 17/14		200 m² J	以上の現地	調査による	る評価		表面	
栓迥牛剱、	経過年数による評価 合計 屋根・屋上		屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	重要性	
E	B 75		В	В	В	В	В	A	

施設名		見取須	集会所		所在地	赤村	大字赤739	90-6
建物名		見取集会所				j	産業建設課	Į.
面積	139	. 45	m [*]	構造		木造		
建築	年度	丰度 1995			圣過年数	2	5	
使用目	標年度	標年度 2035			経過年数	4		
耐震	基準	新	耐震	診断	ı	耐震	エ事	_
经、图 左 米h ii	- L フ = 17./エ		200 m ² J	以上の現地	調査によ	る評価		重要性
経過年数日	-よる計価	・ 合計 屋根・屋上		外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住
E	В – –		-	-	-	-	В	

施設名		上赤纬	集会所		所在地	赤	村大字赤9	04
建物名		上赤集会所				j	赤村大字赤904 産業建設課 木造 34 49 震工事 -	
面積	273	. 12	m [*]	構造		木	造	
建築	年度	19	86	R2時点約	圣過年数	3	4	
使用目	標年度	標年度 2026			経過年数	4		
耐震	基準	新	耐震	診断	_	耐震	エ事	_
经语产粉!	- L フ = 17./1年		200 m ² .	以上の現地	!調査によ	る評価		重要性
経過年数に	こよる計価	合計	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住
E	3	75 B		В	В	В	В	A

施設名		後山集	集会所		所在地	赤	村大字赤67	792
建物名		後山集会所				j	産業建設課	ļ.
面積	15	50	m [*]	構造		木	造	
建築	年度	年度 1992			圣過年数	2	8	
使用目	標年度	20	32	R17時点	経過年数	4		
耐震	基準	新	耐震	診断	1	耐震	エ事	_
経過年数に	- L Z = 17.145		200 m² J	以上の現地	調査による	る評価		重要性
在週十数、	こよる計画	合計 屋根・屋上		外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安は
E	3			_	-	-	-	В

施設名		外山団均	也集会所		所在地	赤村:	大字内田11	140-1
建物名		外山団地集会所				j	産業建設課	Į.
面積	99.	37	m [*]	構造		木	造	
建築	年度	20	14	R2時点約	圣過年数	(ŝ	
使用目	標年度	20	54	R17時点	経過年数	2		
耐震	基準	新	耐震	診断	-	耐震	_	
经证在粉点	- L フ = 17./1年		200 m ² J	以上の現地	調査によ	る評価		重要性
在迥牛致い	経過年数による評価 - 合計 合計		屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住
,	1	-	-	-	-	-	-	В

施設名		月見ガ丘団	団地集会所		所在地	赤	村大字赤49	547
建物名		月見ガ丘団	団地集会所		所管課	j	産業建設課	ļ.
面積	111	. 49	m [*]	構造		木	───────────────── 重要性	
建築	年度	年度 2015			圣過年数	į	5	
使用目	標年度	20	55	R17時点	<mark>経過年数</mark> 20			
耐震	基準	新	耐震	診断	-	耐震	工事	-
经证 年 米山	- L フ = 17./1年		200 m ² .	以上の現地	!調査によ	る評価		手
在迥 牛 数1·	経過年数による評価 合計 屋根		屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住
A		_	_	-	-	_	-	В

施設名		相模団均	也集会所		所在地	赤	村大字赤49	950
建物名		相模団地集会所				j	産業建設課	1
面積	99.	. 37	m [*]	構造		木	造	
建築	年度	年度 2019			圣過年数	1	1	
使用目	標年度	20	59	R17時点	経過年数	1		
耐震	基準	新	耐震	診断	_	耐震	工事	-
经证标制	- L フ = 11/11		200 m² J	以上の現地	調査による	る評価		表面
在迥牛致い	過年数による評価 ├────────────────────────────────────		外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	重要性	
,	Α –		_	_	_	_	-	В

施設名		前ガ原教	育集会所		所在地	赤村カ	大字内田22	23-75		
建物名		前ガ原教	育集会所		所管課		教務課			
面積	13	32	m [*]	構造	=	コンクリー	Jートブロック 48 63 耐震工事 未済 重要性			
建築	年度	1972			圣過年数	4	8			
使用目	標年度	20	37	R17時点	経過年数	6				
耐震	基準	IΒ	耐震	診断	未済	耐震	工事	未済		
⟨▽ ∖□ /⊏ * b / ·	- レフ =tr/エ		200 m ² J	以上の現地	調査によ	る評価		手曲州		
経過年数による評価 一一一 合計		合計	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住		
C		-	-	-	-	-	_	В		

施設名	ż	也蔵の木珠	数丸集会所	Г	所在地	赤	村大字赤1	150	
建物名	±	也蔵の木珠	数丸集会剂	Г	所管課		総務課		
面積	155	. 16	m [*]	構造		木	木造 14 29 耐震工事 -		
建築	年度	丰度 2006			圣過年数	1	4		
使用目	標年度	20	46	R17時点	経過年数	2			
耐震	基準	新	耐震	診断	ı	耐震	工事	_	
奴、 與左粉儿	- L Z = 17.145		200 m² J	以上の現地	調査による	る評価		重要性	
在週十数、	こよる評価 合計 屋根・屋上		屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住	
ļ ,	A – –		-	ı	ı	ı	ı	A	

施設名		横通り・フ	大原集会所		所在地	赤村	大字赤169	98-1	
建物名		横通り・カ	大原集会所		所管課		総務課		
面積	132	132. 7 m ²				木	木造		
建築	年度	20	07	R2時点約	圣過年数	1	3		
使用目	標年度	20	47	R17時点	経過年数	2			
耐震	基準	新	耐震	診断	1	耐震	工事	_	
経過年数は	- L Z = 17.145		200 m² J	以上の現地	調査による	る評価		重要性	
在週十数1	こよる計画	合計 屋根・屋上		外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安は	
,	4			-	-	-	-	A	

施設名		下赤纬	集会所		所在地	赤村	大字赤393	38-5
建物名		下赤集会所					総務課	
面積	257	. 62	m [*]	構造		木	造	
建築	年度	丰度 2007			圣過年数	1	3	
使用目	標年度	標年度 2047			経過年数	2		
耐震	基準	新	耐震	診断	-	耐震	工事	_
経過年数は	- L フ = 17.1元		200 m ² .	以上の現地	調査によ	る評価		重要性
在四十数1	-よる計画	合計 屋根・屋上		外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安は
,	A 75 B		В	В	В	В	В	A

施設名		前ガ原	集会所		所在地	赤村:	大字内田2	158-1
建物名		前ガ原集会所					総務課	
面積	230	. 12	m [*]	構造		木	大造 12 27 震工事 - 重要!	
建築	年度	∓度 2008			圣過年数	1	2	
使用目	標年度	20	48	R17時点	経過年数	2		
耐震	基準	新	耐震	診断	ı	耐震	エ事	_
奴:瓜左*h!	- L Z = 17.14.		200 m² J	以上の現地	調査によ	る評価		ま 西 州
在週十数、	こよる計画	こよる評価 合計 屋根・屋上		外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住
A	A 100 A		A	A	A	A	A	A

施設名		住民セ	ンター		所在地	赤村	大字内田	1188
建物名		集会所					総務課	
面積	165	7. 34	m [*]	構造		鉄筋コン	クリート	
建築	年度	19	84	R2時点約	圣過年数	3	6	
使用目	標年度	20	49	R17時点	経過年数	5		
耐震	基準	新	耐震	診断	1	耐震	工事	_
奴 海左粉1:	- L Z = 17.145		200 m² J	以上の現地	調査による	る評価		重要性
在週十数1	手数による評価		外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安は	
E	В 75 В		В	В	В	В	A	

施設名		住民セ	ンター		所在地	赤村	大字内田	1188
建物名		機械室(棟)					36 51 耐震工事 -	
面積	12	23	m [*]	構造	11	コンクリー	51	
建築	年度	年度 1984			圣過年数	3	6	
使用目	標年度	20	49	R17時点	経過年数	5		
耐震	基準	新	耐震	診断	П	耐震	工事	_
级`风左****·	- L フ = 17./1年		200 m ² .	以上の現地	調査による	る評価		重要性
在迥牛致い	こよる評価 合計 屋根・屋上		外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住	
E	В – –		_	_	-	-	-	A

施設名		住民セ	ンター		所在地	赤木	大字内田	1188
建物名		研修室					総務課	
面積	28	33	m [*]	構造		鉄帽	骨造	
建築	年度	年度 2002			圣過年数	1	8	
使用目	標年度 2067			R17時点	経過年数	3		
耐震	基準	新	耐震	診断	_	耐震	工事	_
経過年数に	- L Z 示/本		200 m² J	以上の現地	調査によ	る評価		重要性
在週十数八	- よる計画	合計 屋根・屋上		外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住
A	1	75 B		В	В	В	В	A

施設名		大内田研修センター				赤木	大字内田	3535
建物名		大内田研修	多センター		所 管課 総務課			
面積	208	. 37	m [*]	構造	木造			
建築	年度	年度 2009			圣過年数	1	1	
使用目	標年度	票年度 2049			経過年数	2	26	
耐震	基準	新	耐震	診断	ı	耐震工事		-
経過年数に	- L Z = 17.145		200 m² J	以上の現地	調査によ	る評価		重要性
在週十数、	こよる計画	合計	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住
ļ	A	100	A	A	A	A	A	A

(2) 今後の方針一覧表

施設名	建物名	実施方針	計画期間内の方針
浦山集会所	浦山集会所	同規模で更新(※)	維持(修繕のみ)
上赤浦田集会所	上赤浦田集会所	同規模で更新(※)	維持(修繕のみ)
合田地区集会所	合田地区集会所	同規模で更新(※)	維持(修繕のみ)
柳場地区集会所	柳場地区集会所	同規模で更新(※)	維持(修繕のみ)
畑地区集会所	畑地区集会所	同規模で更新 (※)	維持(修繕のみ)
伏原集会所	伏原集会所	同規模で更新(※)	維持(修繕のみ)
山渋集会所	山渋集会所	同規模で更新(※)	維持(修繕のみ)
小柳団地集会所	小柳団地集会所	同規模で更新(※)	維持(修繕のみ)
小柳地区集会所(県道沿い)	小柳地区集会所(県道沿い)	同規模で更新(※)	維持(修繕のみ)
小内田多目的集会所	小内田多目的集会所	同規模で更新	更新
見取集会所	見取集会所	他施設と集約化	維持(修繕のみ)
上赤集会所	上赤集会所	同規模で更新	更新
後山集会所	後山集会所	他施設と集約化	維持(修繕のみ)
外山団地集会所	外山団地集会所	団地の方針に合わせる	維持(修繕のみ)
月見ガ丘団地集会所	月見ガ丘団地集会所	団地の方針に合わせる	維持(修繕のみ)
相模団地 集会所	相模団地 集会所	団地の方針に合わせる	維持(修繕のみ)
前ガ原教育集会所	前ガ原教育集会所	廃止	廃止
地蔵の木珠数丸集会所	地蔵の木珠数丸集会所	同規模で更新	維持(修繕のみ)
横通り・大原集会所	横通り・大原集会所	同規模で更新	維持(修繕のみ)
下赤集会所	下赤集会所	同規模で更新	維持(修繕のみ)
前ガ原集会所	前ガ原集会所	同規模で更新	維持(修繕のみ)
住民センター	集会所	同規模で更新	更新
住民センター	機械室(棟)	同規模で更新	更新
住民センター	研修室	同規模で更新	更新
大内田研修センター	大内田研修センター	同規模で更新	維持(修繕のみ)

「同規模で更新 (※)」は更新する場合は地域住民の自己負担が必要となる可能性があります。

(3)課題・基本方針等

課題

- ・老朽化が進んでいる集会所が多数あり、また 1981 年以前に建築された施設は耐震対策を実施していないため、安全性の確保が必要な状況です。
- ・所管課 (係) が多岐にわたっているため、適正配置による余剰施設の有無など、 一元管理できていない状況です。

集会所の年間利用者数

施設名	年間利用者数(概算)	施設名	年間利用者数 (概算)
浦山集会所	10	上赤集会所	858
上赤浦田集会所	50	後山集会所	59
合田地区集会所	30	外山団地集会所	50
柳場地区集会所	30	月見ガ丘団地集会所	100
畑地区集会所	20	相模団地 集会所	50
伏原集会所	20	前ガ原教育集会所	不明
山渋集会所	10	地蔵の木珠数丸集会所	500
小柳団地集会所	20	横通り・大原集会所	250
小柳地区集会所(県道沿い)	30	下赤集会所	350
小内田多目的集会所	492	前ガ原集会所	200
見取集会所	192	大内田研修センター	250

基本方針

・集会所については、地域コミュニティの面で必要と考えられるため、維持していくことを前提としています。しかし、将来的に利用者が少ない施設の統廃合について検討していくことが必要となります。そのため、地区の人口の推移や利用者数の増減によって方針が変化することは十分に考えられます。

計画期間内は原則修繕による施設維持で長期間使用できる状態を保つ方針です。

前ガ原教育集会所は安全が確保できなくなった時点で廃止を検討します。 安全性が十分確保できなくなった場合は、計画期間内でも早急に施設の在り方の検討を実施します。

・住民センターについては、非常用電源を有する唯一の指定避難所であり、類似機能を有する施設は現時点では存在していないため、更新を基本とします。なお、赤村役場の更新時期に合わせて更新することとなりますが、場所・規模に関しては将来検討する必要があります。

また、更新時期まで使用できるように改修を行う可能性があります。

2 社会教育系施設

(1)建物状況一覧表

施設名		赤村住民センター				赤木	大字内田	1188
建物名		図書	書館		所管課		教務課	
面積	1	17	m [*]	構造		鉄筋コン	クリート	
建築	年度	年度 2000			圣過年数 20			
使用目	標年度	20	65	R17時点経過年数 35				
耐震	基準	新	耐震	診断	_	耐震工事		_
经*风左*****	- L フ = 17.1年		200 m ² .	以上の現地	調査によ	る評価		重要性
経過年数による評価		合計	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住
E	В – –		_	_	_	_	A	

(2) 今後の方針一覧表

施設名	建物名	実施方針	計画期間内の方針
赤村住民センター	図書室	同規模で更新	更新

(3)課題・基本方針等

基本方針

- ・現在図書室(図書館)は1か所のみであり、代替が効かない施設であることから、更新を基本とします。
- ・赤村役場に隣接しているため、赤村役場の更新時期に合わせて更新することと なりますが、場所・規模に関しては将来検討する必要があります。

また、更新時期まで使用できるように改修を行う可能性があります。

3 スポーツ・レクリエーション系施設

(1)建物状況一覧表

施設名		健康増進センター				赤村:	赤村大字内田1171-8		
建物名		健康増進	センター		所管課 教務課				
面積	12	17	m [*]	構造		鉄帽	骨造		
建築	年度	19	94	R2時点約	圣過年数	2	6		
使用目	標年度	標年度 2059			R17時点経過年数				
耐震	基準	新	耐震	診断	_	耐震工事		_	
奴 海左粉1:	- L Z = 17.145		200 m² J	以上の現地	調査によ	る評価		重要性	
在週十数1	経過年数による評価		屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住	
E	3	75	В	В	В	В	В	A	

	コミュニ	ティ広場		所在地	赤村大字内田1180-2		180-2		
	休意	息棟		所管課	<mark>管課</mark> 教務課				
6	4	m [*]	構造	=	コンクリー	トブロック	7		
年度	19	84	R2時点約	圣過年数	圣過年数 36				
標年度	20	49	R17時点	経過年数	51				
基準	新	耐震	診断	-	耐震	工事	-		
- L フ = 17./五		200 m ² J	以上の現地	調査によ	る評価		重要性		
経過年数による評価		屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安性		
3			_	-	-	_	A		
	年度 標年度 基準 こよる評価	休覧 64 年度 19 標年度 20 基準 新 こよる評価 合計	年度 1984 標年度 2049 基準 新 耐震 こよる評価 200㎡ 合計 屋根・屋上	休憩棟 64 m° 構造 年度 1984 R2時点線 標年度 2049 R17時点線 基準 新 耐震診断 200㎡以上の現地 合計 屋根・屋上 外壁	休憩棟 所管課 64 m° 構造 三 年度 1984 R2時点経過年数 標年度 2049 R17時点経過年数 基準 新 耐震診断 - 200㎡以上の現地調査による評価 合計 屋根・屋上 外壁 内部仕上げ	休憩棟 所管課 64 m° 構造 コンクリー 年度 1984 R2時点経過年数 3 標年度 基準 新 耐震診断 - 耐震 基準 新 耐震診断 - 耐震 こよる評価 合計 屋根・屋上 外壁 内部仕上げ 電気設備	休憩棟 所管課 教務課 64 m° 構造 コンクリートブロック 年度 1984 R2時点経過年数 36 標年度 2049 R17時点経過年数 51 基準 新 耐震診断 - 耐震工事 こよる評価 合計 屋根・屋上 外壁 内部仕上げ 電気設備 機械設備		

施設名		コミュニ	ティ広場		所在地	赤村大字内田1180-2		
建物名		倉	庫		所管課	<mark>管課</mark> 教務課		
面積	.,	5	m [*]	構造	11	コンクリー	トブロック	7
建築	年度	年度 1984			圣過年数	3	6	
使用目	標年度	[年度 2049		R17時点経過年数		51		
耐震	基準	新	耐震	診断	1	耐震工事		-
级:風 佐 粉 (:	ートス証価		200 m² J	以上の現地	調査による	る評価		重要性
経過年数による評価		合計	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住
E	В – –		_	-	-	-	-	A

施設名		コミュニ	ティ広場		所在地	赤村:	大字内田1	180-1
建物名		公衆	便所		所管課		教務課	
面積	3	8	m [*]	構造		鉄筋コンクリート		
建築	年度	19	98	R2時点約	圣過年数	2	2	
使用目	標年度	20	63	R17時点	経過年数	37		
耐震	基準	新	耐震	診断	1	耐震工事		-
级`风左****·	- L フ = 17./1年		200 m² J	以上の現地	調査によ	る評価		重要性
経過年数による評価		合計	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住
E	В – –		_	-	_	_	A	

施設名		コミュニ	ティ広場		所在地	赤村:	大字内田1	180-2
建物名		屋外	倉庫		<mark>所管課</mark> 教務課			
面積	98.	69	m [*]	構造		軽量釒	失骨造	
建築	年度	度 2015			圣過年数	圣過年数 5		
使用目	標年度	20	55	R17時点	経過年数	20		
耐震	基準	新	耐震	診断	_	耐震工事		_
经证标制	- L フ = 17.1年		200 m ² .	以上の現地	調査によ	る評価		重要性
在迥年致い	経過年数による評価 合計 合計		屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住
,	A		-	-	-	-	-	A

施設名		楠の木運動公園				赤木	大字赤42	13-1
建物名		倉	庫		所管課	課 教務課		
面積	2	2	m [*]	構造	11	コンクリー	トブロック	7
建築	年度	度 2001			圣過年数	1	9	
使用目	標年度	度 2066		R17時点経過年数		34		
耐震	基準	新	耐震	診断	_	耐震工事		_
奴:瓜左*h!	- L Z =亚/本		200 m² J	以上の現地	調査によ	る評価		重要性
在週午数八	経過年数による評価 一一一 合計		屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住
Į.	A	ı	_	_	ı	_	_	A

施設名		楠の木運動公園				赤木	大字赤42	13-1
建物名		便	所		所管課	<mark>f管課</mark> 教務課		
面積	4	4	m [*]	構造	11	コンクリー	トブロック	7
建築	年度	20	01	R2時点約	圣過年数	1	9	
使用目	標年度	20	66	R17時点経過年数		34		
耐震	基準	新	耐震	診断	1	耐震工事		-
奴、 與左粉()	- L Z =亚/本		200 m² J	以上の現地	調査によ	る評価		重要性
経過年数による評価 ├ │		合計	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住
ļ.	1			_	-	_	_	A

施設名		楠の木道	重動公園		所在地	赤木	大字赤421	13-1	
建物名		休憩室((更衣室)		所管課		教務課		
面積	1	8	m [*]	構造		木	木造		
建築	年度	羊度 2001			圣過年数	1	9		
使用目	標年度	20	141	R17時点	経過年数	3	4		
耐震	基準	新	耐震	診断	_	耐震	エ事	_	
级`风左***!	- L Z = 17.145		200 m².	以上の現地	調査によ	る評価		重要性	
在週十数八	こよる計画	はる評価 合計 屋根・屋上		外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住	
,	A	A –		_	_	_	_	A	

施設名		源じし	いの森		所在地	赤木	大字赤693	33-1
建物名	都市交流センター『ほた			5館』	所管課		総務課	
面積	13	1378 m ²				木	造	
建築	年度	19	91	R2時点約	圣過年数	2	9	
使用目	標年度	20	31	R17時点	経過年数	44		
耐震	基準	新	耐震	診断	_	耐震	エ事	_
奴、 與左粉儿	- L Z = 17.14.		200 m² J	以上の現地	調査によ	る評価		重要性
社週午 数1、	による評価 合計 屋根・屋上		屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里女江
E	3	75	В	В	В	В	В	A

施設名		源じし	いの森		所在地	赤木	大字赤693	33-1	
建物名		光	り塔		所管課		総務課	総務課 リート 事 -	
面積	4	43 m ²				鉄筋コン	クリート		
建築	年度	19	91	R2時点約	圣過年数	2	9		
使用目	標年度	20	56	R17時点	経過年数	4			
耐震	基準	新	耐震	診断	-	耐震	工事	_	
级 '	- L フ = 17./1年		200 m² J	以上の現地	調査による	る評価		重要性	
栓迥牛致I·	経過年数による評価 合計 屋根・屋上		外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住		
E	В –		_	-	-	_	_	A	

施設名		源じし	いの森		所在地	赤村	大字赤693	33-1	
建物名		多目的	ホール		所管課		総務課		
面積	22	28	m [*]	構造		木	木造 29 44		
建築	年度	19	91	R2時点約	圣過年数	2	9		
使用目	標年度	標年度 2031			経過年数	4			
耐震	基準	新	耐震	診断	-	耐震	工事	_	
经、图 左 **** 1:	- L フ = 17./1年		200 m ² .	以上の現地	調査によ	る評価		重要性	
在迥十致い	こよる評価 合計 屋根・屋上		屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住	
E	B 75 B		В	В	В	В	В	A	

施設名		源じし	いの森		所在地	赤木	大字赤693	33-1	
建物名		定住促進	センター		所管課		総務課		
面積	30	68	m [*]	構造		木	木造		
建築	年度	19	91	R2時点約	圣過年数	2	9		
使用目	標年度	20	31	R17時点	経過年数	4			
耐震	基準	新	耐震	診断	_	耐震	工事	_	
奴:瓜左****1	- L Z 示/本		200 m² J	以上の現地	調査によ	る評価		重要性	
在週十数八	こよる評価 合計 屋根・屋上		屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住	
E	3	84	A	A	В	В	В	A	

施設名		源じし	いの森		所在地	赤木	大字赤693	33-1
建物名		ログノ	\ ウス		所管課		総務課	
面積	1	111 m ²				木	造	
建築	年度	19	91	R2時点約	圣過年数	2	9	
使用目	標年度	20	31	R17時点	経過年数	4		
耐震	基準	新	耐震	診断	ı	耐震	エ事	_
奴、吳 <i>左 粉 1:</i>	- L Z =亚/本		200 m² J	以上の現地	調査によ	る評価		重要性
在週十数八	こよる評価 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一		外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住	
E	3	75	В	В	В	В	В	A

.,									
施設名		源じし	いの森		所在地	赤村	大字赤693	事 -	
建物名		ログノ	\ ウス		所管課		総務課		
面積	1	111 m ²				木	木造		
建築	年度	19	91	R2時点約	圣過年数	2	9		
使用目	標年度	20	31	R17時点	経過年数	44			
耐震	基準	新	耐震	診断	-	耐震	工事	_	
级 '	- L フ = 17./1年		200 m ² .	以上の現地	調査によ	る評価		手	
在迥年致い	経過年数による評価 合計 屋根・屋上		屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	重要性	
В		75	В	В	В	В	В	A	

施設名		源じし	への森		所在地	赤村	大字赤693	33-1	
建物名		ガーデン	ノホーム		所管課		総務課		
面積	7	78 m²				鉄帽	骨造		
建築	年度	19	91	R2時点約	圣過年数	2	9		
使用目	標年度	標年度 2056		R17時点	経過年数	44			
耐震	基準	新	耐震	診断	-	耐震	耐震工事		
奴' 母左****	- L Z =11/14		200 m² J	以上の現地	調査による	る評価		重要性	
在迥十数I	こよる計画	ニよる評価		外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安は	
	В	-	_	_	-	-	_	A	

施設名		源じし	いの森		所在地	赤村	大字赤693	33-1	
建物名	レク	レクリエーション休憩力			所管課		総務課		
面積	13	32	m [‡]	構造		木	木造		
建築	年度	年度 1991			圣過年数	2	9		
使用目	標年度	20	31	R17時点	経過年数	<mark>過年数</mark> 44			
耐震	基準	新	耐震	診断	1	耐震	エ事	-	
奴:瓜左*h!	- L Z = 17.145		200 m² J	以上の現地	調査による	る評価		重要性	
在週十数八	年数による評価 合計 屋根・屋-		屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住	
E	3	_	_	_	-	-	-	A	

施設名		源じし	への森		所在地	赤村	大字赤693	33-1
建物名		倉	庫		所管課		総務課	
面積	4	8	m [*]	構造		鉄帽	鉄骨造 29 44 村震工事 - *:備機械設備	
建築	年度	19	91	R2時点約	圣過年数	2	9	
使用目	標年度	20	56	R17時点	経過年数	4		
耐震	基準	新	耐震	診断	-	耐震	工事	_
经语产粉!	- L フ = 17./1年		200 m ² .	以上の現地	調査によ	る評価		手
在迥牛致い	こよる評価 合計 屋根・屋上		外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住	
E	В – –		_	_	-	-	-	A

施設名		源じし	いの森		所在地	赤木	大字赤693	33-1
建物名		便所					総務課	
面積	2	0	m [*]	構造	Ξ	コンクリー	トブロック	7
建築	年度	年度 1991			圣過年数	2	9	
使用目	標年度	20	56	R17時点	経過年数	4		
耐震	基準	新	耐震	診断	_	耐震	工事	_
奴:瓜左****1	- L Z =亚/本		200 m² J	以上の現地	調査によ	る評価		重要性
在週十数、	こよる評価 合計 屋根・屋上		屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住
E	В – –		-	_	ı	_	-	A

施設名		源じし	いの森		所在地	赤木	大字赤693	33-1
建物名		シャワ	フー室		所管課		総務課	
面積	4	0	m [*]	構造	=	コンクリー	トブロック	7
建築	年度	19	91	R2時点約	圣過年数	2	9	
使用目	標年度	20	56	R17時点	経過年数	4		
耐震	基準	新	耐震	診断	-	耐震	_	
级 '	- L フ = 17./1年		200 m² J	以上の現地	調査による	る評価		手曲体
在迥牛致い	経過年数による評価 - 一一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 -		外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	重要性	
В		_	_	-	-	_	_	A

施設名		源じし	いの森		所在地	赤村	大字赤693	33-1
建物名		作美	 集 棟		所管課		総務課	
面積	2	21 m²				木	造	
建築	年度	19	91	R2時点約	圣過年数	2	9	
使用目	標年度	年度 2031			経過年数	4		
耐震	基準	新	耐震	診断	-	耐震	工事	_
経過年数は	- L フ = 17./14		200 m ² .	以上の現地	調査によ	る評価		重要性
在四十数1	こよる計画	評価 合計 屋根・屋上		外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安は
E	3	_	_	_	-	-	1	A

施設名		源じし	いの森		所在地	赤木	大字赤693	33-1
建物名		簡易作	作業棟		所管課		総務課	
面積	3	0	m [*]	構造		木	造	
建築	年度	19	91	R2時点約	圣過年数	2	9	
使用目	標年度	20	31	R17時点	経過年数	4		
耐震	基準	新	耐震	診断	_	耐震	工事	-
経過年数に	- L Z 示(本		200 m² J	以上の現地	調査によ	る評価		重要性
在週十数、	- よる計画	合計 屋根・屋上		外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住
E	3	_	-	_	ı	_	-	A

施設名	バン	ノブーシャ	ワーガーラ	デン	所在地	赤木	大字赤52	51-3
建物名		ふるさと	センター		所管課		総務課	
面積	232	4. 23	m [*]	構造		木	造	
建築	年度	19	98	R2時点約	圣過年数	2	2	
使用目	標年度	20	38	R17時点	経過年数	3		
耐震	基準	新	耐震	診断	1	耐震	エ事	_
奴、 與左粉()	- L Z = 17.14		200 m² J	以上の現地	調査によ	る評価		重要性
在週十数八	- よる計画	よる評価 合計 屋根・屋上		外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住
E	3	77	A	В	В	В	В	A

施設名	バン	ノブーシャ	ワーガーラ	デン	所在地	赤木	大字赤525	51-3
建物名		民芸	芸館		所管課		総務課	
面積	3!	359 m [*]				木	造	
建築	年度	19	98	R2時点約	圣過年数	2	2	
使用目	標年度	20	38	R17時点	経過年数	3		
耐震	基準	新	耐震	診断	_	耐震	エ事	_
奴:瓜左*h!	- L Z =亚/本		200 m².	以上の現地	調査によ	る評価		重要性
在週十数八	こよる評価 合計 屋根・屋上		屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住
E	3	84	A	A	В	В	В	A

施設名	バン	ノブーシャ	ワーガーラ	デン	所在地	赤木	大字赤525	51-3	
建物名		井水滅菌室					21 36		
面積	1	4	m [*]	構造		木	木造 21		
建築	年度	19	99	R2時点約	圣過年数	2	1		
使用目	標年度	20	39	R17時点	経過年数	3			
耐震	基準	新	耐震	診断	_	耐震	工事	_	
経過年数に	- L Z = 17.145		200 m² J	以上の現地	調査によ	る評価		重要性	
在週午数八	こよる計画	合計 屋根・屋上		外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住	
E	3	_	-	_	ı	_	-	A	

施設名	グ !	ノーンシャ	ワーガーラ	デン	所在地	赤	村大字赤69	934	
建物名		ログノ	\ ウス		所管課		総務課	事 - 重要性	
面積	14	142 m ²				木	造		
建築	年度	19	96	R2時点約	圣過年数	2	4		
使用目	標年度	20	36	R17時点	経過年数	3			
耐震	基準	新	耐震	診断	ı	耐震	耐震工事		
级 '	- L フ = 17./1年		200 m² J	以上の現地	調査による	る評価		表面	
在迥牛致い	年数による評価 ├────────────────────────────────────		外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住		
E	3	_	_	-	_	_	_	A	

施設名	グリ	ノーンシャ	ワーガーラ	デン	所在地	赤	村大字赤69	934	
建物名		ポンフ	プ小屋		所管課		総務課		
面積	(ô	m [*]	構造		木	木造 24 39		
建築	年度	19	96	R2時点約	圣過年数	2	4		
使用目	標年度	20	36	R17時点	経過年数	3			
耐震	基準	新	耐震	診断	-	耐震	エ事	_	
经语产粉!	- L フ = 17./1年		200 m ² .	以上の現地	!調査によ	る評価		重要性	
在迥牛致い	-よる計៕	よる評価 合計 屋根・屋上		外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住	
E	3	_	_	_	-	_	_	A	

施設名	グ !	ノーンシャ	ワーガーラ	デン	所在地	赤	村大字赤69	934
建物名		バンガローA棟			所管課		総務課	
面積	16 m ²			構造		木	造	
建築	年度	19	96	R2時点約	圣過年数	2	4	
使用目	標年度	20	36	R17時点	経過年数	過年数 39		
耐震	基準	新	耐震	診断	_	耐震工事		_
经语产粉!	- L 7 = 17 / 12		200 m ² .	以上の現地	!調査によ	る評価		重要性
在迥牛致い	こよる評価 合計 屋根・屋上		外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住	
E	3	_	_	-	-	_	-	A

施設名	グリ	ノーンシャ	ワーガーラ	デン	所在地	赤	村大字赤69	934
建物名		バンガ	ローB棟		所管課		総務課	
面積	1	6	m [*]	構造		木	造	
建築	年度	19	96	R2時点約	圣過年数	2	4	
使用目	標年度	20	36	R17時点	経過年数	3		
耐震	基準	新	耐震	診断	1	耐震	エ事	_
奴、 與左粉()	- L Z = 17.145		200 m² J	以上の現地	調査による	る評価		重要性
在週十数八	こよる計画	よる評価 合計 屋根・屋上		外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住
E	3	_	_	_	-	-	-	A

施設名	グリ	ノーンシャ	ワーガーラ	デン	所在地	赤	村大字赤69	934	
建物名		バンガ	ローC棟		所管課		総務課		
面積	17 m²			構造		木	木造 24 39		
建築	年度	19	96	R2時点約	圣過年数	2	4		
使用目	標年度	20	36	R17時点	経過年数	3			
耐震	基準	新	耐震	診断	-	耐震工事		_	
经*点左******	- レフ =tr/エ		200 m ² J	以上の現地	調査によ	る評価		重要性	
在迥牛致い	日年数による評価 - 一日 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本		屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住	
E	3	_	_	-	-	_	_	A	

施設名	グ!	ノーンシャ	ワーガーラ	デン	所在地	赤	村大字赤69	934	
建物名		バンガ	ローD棟		所管課		総務課		
面積	16 m²			構造		木	木造 24 39 耐震工事 -		
建築	年度	19	96	R2時点約	圣過年数	2	4		
使用目	標年度	20	36	R17時点	経過年数	3			
耐震	基準	新	耐震	診断	ı	- 耐震工事		-	
奴、 與左粉儿	- L Z = 17.14.		200 m² J	以上の現地	調査によ	る評価		重要性	
在週十数八	こよる計画	よる評価 合計 屋根・屋上		外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住	
E	3	_	-	_	ı	_	-	A	

施設名	グ !	ノーンシャ	ワーガーラ	デン	所在地	赤	村大字赤69	934
建物名		バンガ	ローE棟		所管課		村大字赤6934 総務課 造 24 39 電工事 -	
面積	25 m ²			構造		木	造	
建築	年度	19	96	R2時点約	圣過年数	2	4	
使用目	標年度	20	36	R17時点	経過年数	3		
耐震	基準	新	耐震	診断	ı	耐震	工事	-
级 '	- L フ = 17./1年		200 m² J	以上の現地	調査による	る評価		手田
在迥牛致い	F数による評価 ├────────────────────────────────────		外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住	
E	3	_	_	-	_	_	_	A

施設名	グリーンシャワーガーデン				所在地	赤村大字赤6934		934
建物名		バンガ	ローF棟		所管課	<mark>听管課</mark> 総務課		
面積	16. 56 m [*]			構造	木造			
建築	年度 1996			R2時点約	圣過年数	過年数 24		
使用目	標年度 2036		R17時点経過年数		39			
耐震	基準	基準 新 耐震		診断	-	耐震工事		_
经语产粉!	- L フ = 17./1年	200㎡以上の現地調査による評価					重要性	
経過年数による評価		合計	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住
E	3	_	_	_	-	-	-	A

施設名	グリーンシャワーガーデン				所在地	赤村大字赤6934		
建物名	バンガローG棟				所管課 総務課			
面積	16 m²			構造	木造			
建築	年度 1996		96	R2時点約	圣過年数 24		4	
使用目	標年度 2036		36	R17時点経過年数		39		
耐震	基準 新 耐震		耐震	診断	- 耐震工事		エ事	-
奴:瓜左****1	- L Z = 17.14.		200㎡以上の現地調査による評価					
経過年数による評価		合計	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	重要性
E	3	_	-	_	ı	_	-	A

施設名	グリ	グリーンシャワーガーデン				赤	村大字赤69	934
建物名	バンガローH棟				所管課	所管課 総務課		
面積	16. 56 m ²			構造	木造			
建築	年度 1996			R2時点約	圣過年数 24			
使用目	標年度 2036		36	R17時点経過年数		39		
耐震	基準	新耐震診断		診断	1	耐震工事		_
奴、 與左粉()	- L Z =11/14	200㎡以上の現地調査による評価					重要性	
経過年数による評価		合計	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安は
E	3	_	-	-	-	-	-	A

施設名	グリーンシャワーガーデン				所在地	赤村大字赤6934		934
建物名		バンガ	口一【棟		所管課	果 総務課		
面積	25 m²			構造	木造			
建築	年度 1996		R2時点約	過年数 24				
使用目	標年度 2036		36	R17時点経過年数		39		
耐震	震基準 新 耐		耐震	診断	-	耐震工事		_
经证 年 米山	- L フ = 17./1年	200㎡以上の現地調査による評価						重要性
経過年数による評価		合計	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住
E	3	_	_	-	-	-	-	A

施設名	グリーンシャワーガーデン				所在地	赤村大字赤6934		
建物名	バンガローJ棟				所管課 総務課			
面積	25 m²			構造	木造			
建築	年度 1996		96	R2時点約	圣過年数 24		4	
使用目	標年度 2036		36	R17時点経過年数		39		
耐震	基準	新	耐震	診断	_	耐震工事		_
经语产粉!	- L フ = 17./1年	200㎡以上の現地調査による評価						重要性
経過年数による評価		合計	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住
E	3	_	_	-	-	_	-	A

施設名	グ!	グリーンシャワーガーデン				赤村大字赤6934		934
建物名	簡易作業施設				所管課	所管課 総務課		
面積	30 m²			構造	木造			
建築	€年度 1996		R2時点約	圣過年数	24			
使用目	2036		R17時点経過年数		39			
耐震	基準	業 新 耐震調		診断	1	耐震工事		-
级:风 在 粉 1:	ートス証価	200㎡以上の現地調査による評価					重要性	
経過年数による評価		合計	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里女に
E	3	-	_	_	-	_	_	Α

施設名	グリーンシャワーガーデン				所在地	赤村大字赤6934		934
建物名	便所				所管課	課 総務課		
面積	15 m²			構造	木造			
建築	年度 1996		R2時点系	圣過年数 24				
使用目	1目標年度 2036		R17時点経過年数		39			
耐震	基準	新	耐震	診断	1	耐震工事		-
级 '	- L フ = 17/14	200㎡以上の現地調査による評価						重要性
経過年数による評価		合計	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住
E	3	_	_	_	-	_	_	A

(2) 今後の方針一覧表

施設名	建物名	実施方針	計画期間内の方針
健康増進センター	健康増進センター	同規模で更新	更新
コミュニティ広場	休憩棟	同規模で更新	更新
コミュニティ広場	倉庫	同規模で更新	更新
コミュニティ広場	公衆便所	同規模で更新	更新
コミュニティ広場	屋外倉庫	同規模で更新	更新
楠の木運動公園	倉庫	同規模で更新	更新
楠の木運動公園	便所	同規模で更新	更新
楠の木運動公園	休憩室(更衣室)	同規模で更新	更新

施設名	建物名	実施方針	計画期間内の方針
源じいの森	都市交流センター『ほたる館』	同規模で更新	維持(修繕のみ)
源じいの森	光の塔	同規模で更新	維持(修繕のみ)
源じいの森	多目的ホール	同規模で更新	維持(修繕のみ)
源じいの森	定住促進センター	同規模で更新	維持(修繕のみ)
源じいの森	ログハウス	同規模で更新	維持(修繕のみ)
源じいの森	ログハウス	同規模で更新	維持(修繕のみ)
源じいの森	ガーデンホーム	同規模で更新	維持(修繕のみ)
源じいの森	レクリエーション休憩施設	同規模で更新	維持(修繕のみ)
源じいの森	倉庫	同規模で更新	維持(修繕のみ)
源じいの森	便所	同規模で更新	維持(修繕のみ)
源じいの森	シャワー室	同規模で更新	維持(修繕のみ)
源じいの森	作業棟	同規模で更新	維持(修繕のみ)
源じいの森	簡易作業棟	同規模で更新	維持(修繕のみ)
バンブーシャワーガーデン	ふるさとセンター	同規模で更新	維持(修繕のみ)
バンブーシャワーガーデン	民芸館	同規模で更新	維持(修繕のみ)
バンブーシャワーガーデン	井水滅菌室	同規模で更新	維持(修繕のみ)
グリーンシャワーガーデン	ログハウス	同規模で更新	維持(修繕のみ)
グリーンシャワーガーデン	ポンプ小屋	同規模で更新	維持(修繕のみ)
グリーンシャワーガーデン	バンガローA棟	同規模で更新	維持(修繕のみ)
グリーンシャワーガーデン	バンガローB棟	同規模で更新	維持(修繕のみ)
グリーンシャワーガーデン	バンガローC棟	同規模で更新	維持(修繕のみ)
グリーンシャワーガーデン	バンガローD棟	同規模で更新	維持(修繕のみ)
グリーンシャワーガーデン	バンガローE棟	同規模で更新	維持(修繕のみ)
グリーンシャワーガーデン	バンガローF棟	同規模で更新	維持(修繕のみ)
グリーンシャワーガーデン	バンガローG棟	同規模で更新	維持(修繕のみ)
グリーンシャワーガーデン	バンガローH棟	同規模で更新	維持(修繕のみ)
グリーンシャワーガーデン	バンガロー[棟	同規模で更新	維持(修繕のみ)
グリーンシャワーガーデン	バンガローJ棟	同規模で更新	維持(修繕のみ)
グリーンシャワーガーデン	簡易作業施設	同規模で更新	維持(修繕のみ)
グリーンシャワーガーデン	便所	同規模で更新	更新

(3)課題・基本方針等

課題

- ・健康増進センターは建設後26年経過しており、長寿命化を図るための改修等を検討する時期に差し掛かっています。
- ・源じいの森は令和3年度に施設建設から30年経過となります。今後はより建物、設備共に維持費用が増加する可能性があります。
- ・温泉施設のふるさとセンターは修繕による維持を考えていますが、設備の更新 の可能性も考えられ、それによる費用増加が懸念されます。

利用者数及び使用料の推移(不明の施設・建物については記載していません)

施設名		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
健康増進センター	利用者(人)	7, 052	7, 010	9, 134	9, 351	8, 753
健康増進センター	使用料 (千円)	307	301	345	292	353
, 广坦	利用者(人)	6, 937	6, 962	7, 423	7, 366	5, 518
コミュニティ広場	使用料 (千円)	230	242	214	217	231
源じいの森	利用者(人)	6, 242	5, 210	5, 614	5, 286	4, 910
都市交流センター『ほたる館』	使用料 (千円)	19, 257	16, 782	17, 443	16, 563	14, 922
源じいの森	利用者(人)	1, 974	1, 325	1, 637	1, 593	1, 757
多目的ホール	使用料 (千円)	637	534	581	632	463
源じいの森	利用者(人)	1, 974	1, 325	1, 637	1, 593	1, 757
定住促進センター	使用料 (千円)	583	490	542	506	441
源じいの森	利用者(人)	2, 525	2, 457	2, 774	2, 628	2, 579
ログハウス	使用料 (千円)	6, 213	6, 288	7, 075	6, 557	6, 590
源じいの森	利用者(人)	514	632	594	660	606
ガーデンホーム	使用料 (千円)	1, 210	1, 568	1, 559	1, 638	1, 481
源じいの森	利用者(人)	1,003	976	1, 065	1, 205	1, 199
レクリエーション休憩施設	使用料 (千円)	-	-	-	-	-
バンブーシャワーガーデン	利用者(人)	148, 855	149, 445	147, 373	135, 696	149, 552
ふるさとセンター	使用料 (千円)	69, 131	75, 670	74, 577	67, 482	75, 515
グリーンシャワーガーデン	利用者(人)	947	921	1, 040	986	967
ログハウス	使用料 (千円)	2, 663	2, 695	3, 032	2, 810	2, 824
グリーンシャワーガーデン	利用者(人)	4, 680	4, 690	4, 948	4, 755	4, 505
バンガロー(10棟)	使用料 (千円)	7, 340	7, 697	7, 935	7, 941	7, 788

基本方針

- ・スポーツ施設は安定して利用者がいる状況であるため現状は同程度の規模で更新する方向です。また、計画期間内は修繕による維持で、長期間使用できる状態を保ちます。
- ・源じいの森関連施設も、現状は同規模で更新していく予定にしています。計画 期間内では修繕による維持を基本としています。しかし、温泉施設は、建物本体 はもとより設備の維持や更新に多額の費用が必要となるため、改修工事等が必要 となった場合は、ほかの施設に負担がかからない時期を検討していきます。

4 産業系施設

施設名		共同育	苗施設		所在地	赤村:	大字内田1	174-1
建物名		作業	室棟		所管課	産業建設課		
面積	10	41	m [*]	構造		鉄钌	骨造	
建築	年度	19	92	R2時点約	圣過年数	2	8	
使用目	標年度	20	57	R17時点	経過年数	4		
耐震	基準	新	耐震	診断	-	耐震	エ事	_
経過年数に	- L Z =11/14		200 m² J	以上の現地	調査によ	る評価		重要性
在週十数八	こよる計画	合計 屋根·屋上 外壁			内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安は
E	3	75	В	В	В	В	В	A

施設名	i E	豊畜産物処	理加工施設		所在地	赤木	赤村大字赤4530-3		
建物名		穀類乾	燥施設		所管課	産業建設課			
面積	7	11	m [*]	構造		鉄帽	骨造		
建築	年度	20	02	R2時点約	圣過年数	1	8		
使用目	標年度	20	67	R17時点	経過年数	3			
耐震	基準	新	耐震	診断	-	耐震	工事	_	
经语产粉!	- L Z = 17/11		200 m ² J	以上の現地	調査によ	る評価		手	
経過年数に	- よる計៕	合計 屋根·屋上 外壁			内部仕上げ	電気設備	機械設備	重要性	
ļ.	1	91	В	В	A	A	A	В	

施設名	唐	豊畜産物処	理加工施訂	元	所在地	赤村大字赤4530-3		
建物名		倉	庫		所管課	課 産業建設課		
面積	8	5	m [*]	構造		鉄帽	骨造	
建築	年度	20	02	R2時点約	圣過年数	1	8	
使用目	標年度	20	67	R17時点	経過年数	3		
耐震	基準	新	耐震	診断	_	耐震	エ事	-
经语产粉!	- L 7 = 17 / 12		200 m ² .	以上の現地	調査によ	る評価		重要性
経過年数に	こよる計画	合計 屋根・屋上 外壁			内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住
ļ.	1	-	-	-	-	-	-	В

施設名	÷	长麦共同乾	燥調製施記	克	所在地	赤村:	大字内田11	174-1
建物名		共同化	作業所		所管課	<mark>所管課</mark> 産業建設課		
面積	14	11	m [*]	構造		鉄帽	骨造	
建築	年度	19	86	R2時点約	圣過年数	3	4	
使用目	標年度	20	51	R17時点	経過年数	4		
耐震	基準	新	耐震	診断	_	耐震	エ事	_
经证在粉点	- L フ = 17./1年		200 m ² J	以上の現地	調査によ	る評価		重要性
経過年数日	こよる計画	合計 屋根·屋上 外壁			内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安は
E	3	75	В	В	В	В	В	A

施設名	施設名 建物名		計画期間内の方針
共同育苗施設	作業室棟	同規模で更新	維持(修繕のみ)
農畜産物処理加工施設	穀類乾燥施設	譲渡	譲渡
農畜産物処理加工施設	倉庫	譲渡	譲渡
米麦共同乾燥調製施設	共同作業所	同規模で更新	維持(修繕のみ)

(3)課題・基本方針等

基本方針

- ・共同育苗施設及び米麦共同乾燥調製施設は基幹産業である農業を支えるため に譲渡又は同規模での更新を検討します。当面は維持により長期に渡り施設を使 用できるようにします。
- ・農畜産物処理加工施設は、計画期間の終盤に譲渡することを方針とします。それまでは修繕により適切に維持します。

5 学校教育系施設

施設名		赤小	学校		所在地	赤村	大字赤458	31-1
建物名		校	舎		所管課		教務課	
面積	29	55	m [*]	構造		鉄筋コン	クリート	
建築	年度	19	89	R2時点約	圣過年数	3	1	
使用目	標年度	20	54	R17時点経過年数		46		
耐震	基準	新	耐震	診断	ı	- 耐震工事		
级、强 <i>左***</i> 1.5	- L 7 = 17 / 12		200 m².	以上の現地	調査によ	る評価		重要性
経過年数に	-よる計111	合計	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住
E	3	82	В	A	В	В	В	A

	赤小	学校		所在地	赤木	31–1	
	機材	戒棟		所管課		教務課	
4	9	m [*]	構造		鉄筋コン	クリート	
年度	19	89	R2時点約	圣過年数	3	1	
標年度	20	54	R17時点	経過年数	4		
基準	新	耐震	診断	-	耐震	工事	-
- L フ = 17.1年		200 m ² J	以上の現地	調査によ	る評価		重要性
-よる計価	合計 屋根・屋上 外壁			内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住
3	-	_	-	-	-	_	A
	年度 標年度 基準 こよる評価	機材 49 年度 19 標年度 20 基準 新 こよる評価 合計	年度 1989 標年度 200㎡ とよる評価 合計 屋根・屋上	機械棟 49 m° 構造 年度 1989 R2時点系標年度 2054 R17時点記 基準 新 耐震診断 こよる評価 合計 屋根・屋上 外壁	機械棟 所管課 49 m 構造 年度 1989 R2時点経過年数 標年度 2054 R17時点経過年数 基準 新 耐震診断 - 200㎡以上の現地調査による評価 合計 屋根・屋上 外壁 内部仕上げ	機械棟 所管課 49 m° 構造 鉄筋コン 年度 1989 R2時点経過年数 3 標年度 2054 R17時点経過年数 4 基準 新 耐震診断 - 耐震 - よる評価 合計 屋根・屋上 外壁 内部仕上げ 電気設備	機械棟 所管課 教務課 49 m° 構造 鉄筋コンクリート 年度 1989 R2時点経過年数 31 標年度 2054 R17時点経過年数 46 基準 新 耐震診断 - 耐震工事 こよる評価 合計 屋根・屋上 外壁 内部仕上げ 電気設備 機械設備

施設名		赤小	学校		所在地	赤村大字赤4581-1		
建物名	爲]庫(屋内	相撲場横)		所管課	<mark>听管課</mark> 教務課		
面積	5	2	m [*]	構造		木	造	
建築	年度	19	89	R2時点約	圣過年数	3	1	
使用目	標年度	20	29	R17時点	経過年数	4		
耐震	基準	新	耐震	診断	-	耐震	工事	_
経過年数に	- L Z =亚/本		200 m² J	以上の現地	調査による	る評価		重要性
在週午数八	- よる計画	合計 屋根·屋上 外壁			内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住
E	3	_	_	_	_	_	-	A

施設名		赤小	学校		所在地	赤村	大字赤458	31-1
建物名		便所(運	動場内)		所管課	<mark>管課</mark> 教務課		
面積	1	9	m [*]	構造	-	コンクリー	トブロック	7
建築	年度	19	85	R2時点約	圣過年数	3	5	
使用目	標年度	20	50	R17時点経過年数		50		
耐震	基準	新	耐震	診断	1	耐震	工事	-
経過年数に	- L Z =亚/本		200 m² J	以上の現地	調査による	る評価		重要性
在週午数八	- よる計画	合計	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住
E	3	_	-	-	-	-	-	В

施設名		赤小	学校		所在地	赤木	赤村大字赤4581-1		
建物名		屋内设	重動場		所管課		教務課		
面積	13	23	m [*]	構造		鉄筋コン	クリート		
建築	年度	20	00	R2時点約	圣過年数	2			
使用目	標年度	20	65	R17時点	経過年数	3			
耐震	基準	新	耐震	診断	_	耐震	工事	_	
経過年数日	- L Z = 17.145		200 m².	以上の現地	調査による	る評価		重要性	
在迥十致い	こよる計画	合計 屋根・屋上 外壁			内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住	
E	3	75	В	В	В	В	В	A	

施設名		赤小学校	上赤分校		所在地	赤木	寸大字赤86	7–4
建物名		校	舎		所管課		教務課	
面積	30	35	m [*]	構造		木	造	
建築	年度	19	92	R2時点約	経過年数 28			
使用目	標年度	年度 2032			経過年数	4	.3	
耐震	基準	新	耐震	診断	_	耐震	工事	_
奴:瓜左****	- L Z 示(本		200 m² J	以上の現地	調査によ	る評価		重要性
在週十数、	過年数による評価 ├──── 合計		屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住
E	В 75		В	В	В	В	В	A

施設名		赤中	学校		所在地	赤	村大字赤49	577
建物名		校	舎		所管課	教務課		
面積	18	70	m [*]	構造		鉄筋コン	クリート	
建築	年度	19	72	R2時点約	<mark>圣過年数</mark> 48			
使用目	目標年度 2037			R17時点	経過年数	6	3	
耐震	基準	IΒ	耐震	診断	未済	耐震	エ事	未済
奴语在粉 点	- L Z = 17.145		200 m² J	以上の現地	調査による	る評価		重要性
在週十数1	経過年数による評価		屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住
	С		В	В	С	С	С	A

施設名		赤中	学校		所在地	赤	村大字赤45	577	
建物名		校舎(特	別教室)		所管課	<mark>听管課</mark> 教務課			
面積	30	35	m [*]	構造		鉄筋コン	クリート		
建築	年度	19	93	R2時点約	経過年数 27				
使用目	標年度	20	58	R17時点	経過年数	4	2		
耐震	基準	新	耐震	診断	1	耐震	工事	_	
奴 语左粉1	- L Z =亚/东		200 m² J	以上の現地	調査による	る評価		重要性	
在迥十致い	による評価 合計 屋根		屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安は	
E	3	75	В	В	В	В	В	A	

施設名		赤中	学校		所在地	赤	村大字赤4	577
建物名		屋内设	重動場		所管課	教務課		
面積	17	38	m [*]	構造				
建築	年度	19	97	R2時点約	R2時点経過年数 23			
使用目	標年度	20	62	R17時点	経過年数	3	8	
耐震	基準	新	耐震	診断	ı	耐震	エ事	_
奴:瓜左****1	- L Z =亚/本		200 m² J	以上の現地	調査によ	る評価		重要性
胜迥牛奴、	過年数による評価		屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里女江
E	В 75		В	В	В	В	В	A

施設名		赤中	学校		所在地	赤	村大字赤49	577	
建物名	校	舎(技術・	・家庭科室)	所管課	<mark>所管課</mark> 教務課			
面積	2	257 m²				木	造		
建築	年度	20	09	R2時点約	2時点経過年数 11				
使用目	標年度 2049			R17時点	経過年数	2	6		
耐震	基準	新	耐震	診断	_	耐震	エ事	_	
奴:吳左*h!	- L Z = 17.14		200 m² J	以上の現地	調査によ	る評価		重要性	
在週十数、	経過年数による評価		屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住	
A	A 91		В	В	A	A	A	A	

施設名		赤中	学校		所在地	赤	村大字赤45	577
建物名		倉庫(ポン	ノプ小屋)		所管課	教務課		
面積	(ô	m [*]	構造	コンクリートブロック			
建築	年度	19	72	R2時点約	<mark>圣過年数</mark> 48			
使用目	標年度	20	37	R17時点	経過年数	6	3	
耐震	基準	IΒ	耐震	診断	未済	耐震	エ事	未済
级`风左****·	- L フ = 17./1年		200 m ² .	以上の現地	!調査によ	る評価		重要性
在迥牛致い	過年数による評価		屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住
(С –		-	-	-	_	-	В

施設名		共同給食	センター		所在地	赤	村大字赤45	582	
建物名	=	ランチルー	ム・厨房板	東	所管課	<mark>听管課</mark> 教務課			
面積	105	6. 9	m [*]	構造		鉄帽	骨造		
建築	年度	20	11	R2時点約	R2時点経過年数 9				
使用目	標年度	20	76	R17時点	経過年数	2	4		
耐震	基準	新	耐震	診断	_	耐震	工事	_	
经证在粉!	- L 7 = 17 / 12		200 m ² .	以上の現地	!調査によ	る評価		重要性	
経過年数に	-よる計1111	合計	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住	
ļ ,	A		A	A	A	A	A	A	

施設名	建物名	実施方針	計画期間内の方針
赤小学校	校舎	他施設と集約化	維持(修繕のみ)
赤小学校	機械棟	同規模で更新	維持(修繕のみ)
赤小学校	倉庫 (屋内相撲場横)	縮小して更新	維持(修繕のみ)
赤小学校	便所 (運動場内)	廃止	廃止
赤小学校	屋内運動場	他施設と集約化	維持(修繕のみ)
赤小学校上赤分校	校舎	民間の活用	更新
赤中学校	校舎	他施設と集約化	維持(修繕のみ)
赤中学校	校舎(特別教室)	他施設と集約化	維持(修繕のみ)
赤中学校	屋内運動場	同規模で更新	維持(修繕のみ)
赤中学校	校舎(技術・家庭科室)	他施設と集約化	維持(修繕のみ)
赤中学校	倉庫 (ポンプ小屋)	廃止	廃止
共同給食センター	ランチルーム・厨房棟	同規模で更新	更新

(3)課題・基本方針等

学校施設の運営状況

・小学校は、赤小学校と上赤分校の2校があり、中学校は赤中学校の1校となっています。

生徒数の推移(R3年度以降は、現在の0~5歳の人口を参考に記載しています)

①赤小学校

赤小学校	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
1 年生	21	25	29	16	26	17	16	18	20	15	17	19
内)特支学級	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0
2年生	30	21	27	30	16	27	17	16	18	20	15	17
内)特支学級	0	1	1	1	2	1	0	0	0	0	0	0
3年生	37	32	27	32	36	22	35	19	20	22	27	21
内)特支学級	1	0	2	1	2	2	1	0	0	0	0	0
4年生	29	37	32	27	33	37	22	35	19	20	22	27
内)特支学級	0	1	0	2	1	2	2	1	0	0	0	0
5年生	22	28	37	32	27	33	37	22	35	19	20	22
内)特支学級	0	0	1	0	2	1	2	2	1	0	0	0
6年生	38	22	28	37	33	28	33	37	22	35	19	20
内)特支学級	0	0	0	1	0	2	1	2	2	1	0	0
合計	177	165	180	174	171	164	160	147	134	131	120	126

②上赤分校

赤小学校上赤分校	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
1年生	5	4	6	6	8	2	4	4	7	6	1	0
2年生	5	5	3	6	6	8	2	4	4	7	6	1
合計	10	9	9	12	14	10	6	8	11	13	7	1

③赤中学校

赤中学校		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
1年生		29	31	21	28	36	34	28	33	37	22	35	19
内)	特支学級	0	0	0	0	1	1	2	1	2	2	1	0
2年生		23	29	33	21	28	36	34	28	33	37	22	35
内)	特支学級	2	0	1	0	1	1	1	2	1	2	2	1
3年生		21	23	29	33	20	29	36	34	28	33	37	22
内)	特支学級	2	2	0	1	1	1	1	1	2	1	2	2
合計		73	83	83	82	84	99	98	95	98	92	94	76

課題

- ・赤中学校の校舎、倉庫(ポンプ小屋)が建設後48年経過しており、耐震化も 含めて老朽化が進んでいる状況です。
- ・赤小学校の生徒数が、現在は6学年170人前後で推移していますが、今後5年間で130人前後まで減少すると予測しています。

基本方針

- ・小中一貫教育を推進しており、中学校校舎の更新に併せて小中学校の統廃合を 検討します。実際に建替えを実施する場合は、その時の教室の使用状況(空き室 があるか等)や生徒数の推移によって面積を縮小して建築することも考えられま す。そのため、中学校校舎以外の建物については長寿命化は図らず、修繕による 維持を実施していくことでコストを抑える方針です。
- ・給食センターについては、設備の更新が発生することが考えられるため、その 時に建物の更新も併せて検討していきます。

6 保健・福祉施設

施設名	高	齢者能力活	舌用センタ	_	所在地	赤村:	大字内田11	166-1
建物名	高齢者能	力活用セン	ノター (赤	駅含む)	所管課 住民課			
面積	182	. 98	m [*]	構造		鉄筋コン	クリート	
建築	年度	20	02	R2時点約	R2時点経過年数 18			
使用目	標年度	20	67	R17時点	経過年数	3	3	
耐震	基準	新	耐震	診断	ı	耐震	エ事	_
级`风左****·	- L 7 = 17 / 12		200 m² J	以上の現地	調査による	る評価		重要性
在週十数八	経過年数による評価 合計		屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安は
A	Α -		_	ı	ı	_	_	A

施設名		保健セ	ンター		所在地	赤村ス	大字内田11	84-14
建物名		保健センター				課住民課		
面積	980	ô. 4	m [*]	構造	鉄骨造			
建築	年度	1994			圣過年数 26			
使用目	標年度	漂年度 2059			R17時点経過年数		41	
耐震	基準	新	耐震	診断	-	耐震	エ事	_
経過年数に	- L 7 = 17 / 12		200 m ² .	以上の現地	調査によ	る評価		重要性
在迥牛致い	-よる計1111	会計 屋根・屋上		外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住
E	3	75 B		В	В	В	В	A

施設名	高	齢者ふれる	あいセンタ	_	所在地	赤村	大字赤595	51-1
建物名	高	高齢者ふれあいセンター				所管課 産業建設課		
面積	78	78. 8 m²			鉄骨造			
建築	年度	20	00	R2時点約	圣過年数	2	0	
使用目	標年度	20	65	R17時点経過年数 35		5		
耐震	基準	新	耐震	診断	-	耐震	工事	-
経過年数に	- L Z = 17.145		200 m² J	以上の現地	調査による	る評価		重要性
在週十数、	こよる計画	合計 屋根·屋上		外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住
E	3			_	_	_	_	В

施設名	ō	卡村人権福	祉センタ-	_	所在地	赤村	大字赤45	58-4
建物名	ā	卡村人権福	祉センタ-	_	所管課	人	室	
面積	299	299. 51 m²			鉄骨鉄筋コンクリート			`
建築	年度	丰度 2002			圣過年数 18			
使用目	標年度	20	67	R17時点経過年数 33		3		
耐震	基準	新	耐震	診断	-	耐震	工事	_
级 '	- L フ = 17./1年		200 m² J	以上の現地	調査による	る評価		重要性
在迥年致い	こよる評価 合計 屋根・屋上		外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住	
,	1	91 B		В	A	A	A	В

施設名		合田地区	区納骨堂		所在地	赤村	大字赤427	73-1
建物名		合田地区納骨堂				人権同和対策室		
面積	3	6	m [*]	構造	鉄筋コンクリート			
建築	年度	1970			圣過年数 50			
使用目	標年度	年度 2035			R17時点経過年数 65		5	
耐震	基準	IΒ	耐震	診断	未済	耐震	工事	未済
级`风左****·	- L 7 = 17 / 12		200 m ² .	以上の現地	調査によ	る評価		重要性
経過年数に	-よる計1111	合計	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住
()			_	_	-	-	В

施設名		前ガ原地	区納骨堂		所在地	赤村ス	大字内田22	23-50
建物名		前ガ原地	区納骨堂		所管課	人	権同和対策	室
面積	3	36 m ²			鉄筋コンクリート			
建築	年度	■度 1973			圣過年数 47			
使用目	標年度	票年度 2038			R17時点経過年数 62		2	
耐震	基準	IΒ	耐震	診断	未済	耐震	エ事	未済
経過年数は	- L Z = 17.14.		200 m² J	以上の現地	調査によ	る評価		重要性
在週十数小	こよる計画	合計	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安は
(3	_	-	-	ı	_	-	В

施設名		柳場地區	区納骨堂		所在地	赤村	大字赤525	51-1
建物名		柳場地区納骨堂				人権同和対策室		
面積	16	. 5	m [*]	構造	鉄筋コンクリート			
建築	年度	1981			圣過年数 39			
使用目	標年度	20	46	R17時点経過年数		5	54	
耐震	基準	IΒ	耐震	診断	未済	耐震	工事	未済
经证在粉点	- L フ = 17./1年		200 m² J	以上の現地	調査による	る評価		重要性
経過年数日	-よる計៕	合計	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住
E	3	_	_	_	_	_	_	В

施設名		伏原地[区納骨堂		所在地	赤村:	大字内田12	231–2
建物名		伏原地区納骨堂				人権同和対策室		
面積	2	5	m [*]	構造	鉄筋コンクリート			
建築	年度	F度 2006			圣過年数 14			
使用目	標年度	票年度 2071			<mark>長経過年数</mark> 29			
耐震	基準	新	耐震	診断	_	耐震	エ事	-
级、四 /工 米+1	- L フ = 17./エ		200 m ² .	以上の現地	調査によ	る評価		重要性
	こよる評価	合計 屋根・屋上		外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住
	A			_	_	_	_	В
		l			l	l	I	

施設名		山渋地区	区納骨堂		所在地	赤	村大字赤78	313
建物名		山渋地区納骨堂				人	権同和対策	室
面積	16	. 5	m [*]	構造	鉄筋コンクリート			
建築	年度	度 1981			圣過年数 39			
使用目	標年度	年度 2046			R17時点経過年数 54		4	
耐震	基準	IΒ	耐震	診断	未済	耐震	工事	未済
経過年数に	- L Z = 17.14.		200 m² J	以上の現地	調査によ	る評価		重要性
社週 十数1、	トチの計画	合計	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里女江
E	3	-	-	ı	ı	_	-	В

施設名		浦山地區	区納骨堂		所在地	赤木	大字赤497	79–1
建物名		浦山地区納骨堂				人権同和対策室		
面積	3	6	m [*]	構造	鉄筋コンクリート			
建築	年度	1975			圣過年数 45			
使用目	標年度	20	40	R17時点経過年数		60		
耐震	基準	旧	耐震	診断	未済	耐震	工事	未済
経過年数に	- L Z 示(本		200 m² J	以上の現地	調査によ	る評価		重要性
在週十数、	- よる計画	合計	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安は
()	-	_	_	-	_	_	В

施設名	建物名	実施方針	計画期間内の方針
高齢者能力活用センター	高齢者能力活用センター (赤駅含む)	同規模で更新	維持(修繕のみ)
保健センター	保健センター	同規模で更新	維持(修繕のみ)
高齢者ふれあいセンター	高齢者ふれあいセンター	廃止	廃止
赤村人権福祉センター	赤村人権福祉センター	縮小して更新	維持(修繕のみ)
合田地区納骨堂	合田地区納骨堂	他施設と集約化	維持(修繕のみ)
前ガ原地区納骨堂	前ガ原地区納骨堂	他施設と集約化	維持(修繕のみ)
柳場地区納骨堂	柳場地区納骨堂	他施設と集約化	維持(修繕のみ)
伏原地区納骨堂	伏原地区納骨堂	他施設と集約化	維持(修繕のみ)
山渋地区納骨堂	山渋地区納骨堂	他施設と集約化	維持(修繕のみ)
浦山地区納骨堂	浦山地区納骨堂	他施設と集約化	維持(修繕のみ)

(3)課題・基本方針等

課題

・納骨堂については、伏原地区納骨堂以外は建築から39~50年経過しており、老朽化がかなり進行している。

基本方針

- ・計画期間内において、高齢者ふれあいセンターは廃止の方向で検討していきます。それ以外の施設については、修繕による維持で施設管理を実施していきます。
- ・赤村人権センターは将来的に規模を縮小して更新することを検討します。
- ・納骨堂については耐震化の検討は行わないため、安全の確保が出来なくなった 時点で、集約化による施設更新を検討していきます。

7 行政系施設

施設名		赤村	役場		所在地	赤木	大字内田	1188
建物名		庁	舎		所管課		総務課	
面積	1284	4. 19	m [*]	構造	鉄骨鉄筋コンクリート			'
建築	年度	1984			圣過年数 36			
使用目	標年度	票年度 2049			R17時点経過年数 5		51	
耐震	基準	新	耐震	診断	1	耐震	エ事	_
経過年数は	- L Z = 17.145		200 m² J	以上の現地	調査によ	る評価		重要性
在迥十致い	こよる計画	計 屋根・屋上		外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安は
E	3	75	В	В	В	В	В	A

施設名		赤村	役場		所在地	赤木	大字内田1	1188
建物名		倉庫				所管課 総務課		
面積	30	06	m [*]	構造	鉄骨造			
建築	年度	■度 1984			圣過年数 36			
使用目	標年度	年度 2049			<mark>経過年数</mark> 51			
耐震	基準	新	耐震	診断	-	耐震	工事	-
经净生料。	- L フ = 17.1年		200 m ² J	以上の現地	調査によ	る評価		重要性
在迥牛致!	こよる評価	・ 合計 屋根・屋上		外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住
E	3							A

1188	大字内田	赤木	所在地		役場	赤村		施設名	
	総務課		所管課		倉庫				
ク	トブロック	コンクリー	Ξ	構造	23.88 m [*] 構造				
	6	3	圣過年数	R2時点約	84	19	年度	建築	
	1	5	経過年数	R17時点:	49	20	標年度	使用目	
-	工事	耐震	_	診断	耐震	新	基準	耐震	
- 重要性		る評価	認査によ	以上の現地	200 m ² .		- レフ証/年	经 、图 左 米h l	
里安住	機械設備	電気設備	内部仕上げ	外壁	屋根・屋上	合計	こよる評価	在迥 平数Ⅰ	
A	_	_	_	_	_	_	3		

施設名		赤村	役場		所在地	赤村	大字内田	1188
建物名	倉庫				所管課	<mark>管課</mark> 総務課		
面積	9	9	m [*]	構造	鉄骨造			
建築	年度	19	84	R2時点約	圣過年数	3	6	
使用目	標年度	20	49	R17時点	経過年数	51		
耐震	基準	新	耐震	診断	-	耐震	工事	_
经证在粉点	- L フ = 17./1年		200 m² J	以上の現地	調査による	る評価		重要性
経過年数日	-よる計៕	合計	合計 屋根・屋上 外壁			電気設備	機械設備	里安住
E	3	_	_	_	_	-	-	A

施設名		赤村	役場		所在地	赤木	大字内田	188
建物名		災害備	蓄倉庫		所管課		総務課	
面積	3!	50	m [*]	構造		鉄帽	骨 造	
建築	年度	20	14	R2時点約	圣過年数	(3	
使用目	標年度	20	2069 R17時			21		
耐震	基準	新	耐震	診断	-	耐震	工事	_
経過年数は	- L フ = 17./1年		200 m ² .	以上の現地	!調査によ	る評価		重要性
在迥十致い	こよる計画	合計	合計 屋根·屋上 外壁			電気設備	機械設備	里安は
,	4	100	A	A	A	A	A	A

施設名	复	第1分団	消防格納厚	į.	所在地	赤村	大字赤474	14-2
建物名	管	第1分団 消防格納庫					総務課	
面積	53.	53.82 m [*] 構造				木造		
建築	年度	19	87	R2時点約	圣過年数	3	3	
使用目	標年度	20	27	R17時点	経過年数	48		
耐震	基準	新	耐震	診断	-	耐震	工事	_
経過年数は	- L Z = 17.14.		200 m² J	以上の現地	調査による	る評価		重要性
在週十数小	こよる計画	合計	合計 屋根・屋上 外壁			電気設備	機械設備	里安住
E	3	_	ı	ı	ı	ı	ı	A

施設名	复	第2分団	消防格納區	į.	所在地	赤村	大字赤35	17-2
建物名	箩	第 2 分団 消防格納庫					総務課	
面積	75.	53	m [*]	構造		コンクリー	トブロック	7
建築	年度	20	06	R2時点系	圣過年数	1	4	
使用目	標年度	20	71	R17時点	経過年数	29		
耐震	基準	新	耐震	診断	1	耐震	工事	-
経過年数に	- L フ = 17./1年		200 m² J	以上の現地	調査による	る評価		重要性
在週午数、	こよる計画	合計	合計 屋根・屋上 外壁			電気設備	機械設備	里安住
ļ.	4	_	-	-	-	-	-	A

46-6	大字赤394	赤木	所在地	車	消防格納區	第4分団	ĝ	施設名
	総務課		所管課	第 4 分団 消防格納庫				建物名
ל	トブロック	75.53 m [*] 構造 コンクリートブロ			75	面積		
	7		圣過年数	R2時点約	13	20	年度	建築
	2	2	経過年数	R17時点:	78	20	標年度	使用目
-	工事	耐震	_	診断	耐震	新	基準	耐震
手 邢 丛		る評価	認査によ	以上の現地	200 m ² .		- Lフ=亚/エ	√∇ 、□ /⊤ ※♭ I
- 重要性	機械設備	電気設備	内部仕上げ	外壁				経過年数日
A	_	_	_	_	_	_	A	,

施設名	É	第5分団	消防格納區	Į	所在地	赤村	大字内田	3535
建物名	箩	第5分団 消防格納庫						
面積	75.	53	m [*]	構造	11	7		
建築	年度	20	09	R2時点約	圣過年数	1	1	
使用目	標年度	20	74	R17時点	経過年数	26		
耐震	基準	新	耐震	診断	_	耐震	工事	_
奴语在粉 点	- L Z = 17.14.		200 m² J	以上の現地	調査によ	る評価		重要性
経過年数日	こよる計価	合計	合計 屋根・屋上 外壁			電気設備	機械設備	里安住
ļ	A	_	ı	ı	ı	ı	ı	A

施設名	箩	第6分団	消防格納區	į.	所在地	赤村	大字赤518	6-28
建物名		第6分団	消防格納區	Į.	所管課		総務課	
面積	50.	03	m [*]	構造	11	コンクリー	トブロック	7
建築	年度	19	92	R2時点約	圣過年数	2		
使用目	標年度	20	57	R17時点	経過年数	4		
耐震	基準	新	耐震	診断	1	耐震	エ事	_
経過年数に			200 m².	以上の現地	調査によ	る評価		重要性
胜迥牛奴、	トチの計画	合計	合計 屋根·屋上 外壁			電気設備	機械設備	里女に
E	3	_	_	_	-	_	_	A

施設名	复	第7分団	消防格納區		所在地	赤村	大字内田4	87–5
建物名	箩	第7分団 消防格納庫					総務課	
面積	75.	75.53 m [°] 構造				コンクリー	トブロック	7
建築	年度	20	09	R2時点約	圣過年数	1	1	
使用目	標年度	20	74	R17時点	経過年数	26		
耐震	基準	新	耐震	診断	1	耐震	エ事	_
级`风左****·	- L 7 = 17 / 12		200 m² J	以上の現地	調査によ	る評価		重要性
経過年数に	ーよる計画	合計	合計 屋根・屋上 外壁			電気設備	機械設備	里安は
ļ.	4	_	_	_	ı	_	_	A

施設名	建物名	実施方針	計画期間内の方針
赤村役場	庁舎	同規模で更新	更新
赤村役場	倉庫	同規模で更新	更新
赤村役場	倉庫	同規模で更新	更新
赤村役場	倉庫	同規模で更新	更新
赤村役場	災害備蓄倉庫	同規模で更新	維持(修繕のみ)
第1分団 消防格納庫	第1分団 消防格納庫	同規模で更新	更新
第2分団 消防格納庫	第 2 分団 消防格納庫	同規模で更新	維持(修繕のみ)
第4分団 消防格納庫	第 4 分団 消防格納庫	同規模で更新	維持(修繕のみ)
第5分団 消防格納庫	第5分団 消防格納庫	同規模で更新	維持(修繕のみ)
第6分団 消防格納庫	第6分団 消防格納庫	同規模で更新	維持(修繕のみ)
第7分団 消防格納庫	第7分団 消防格納庫	同規模で更新	維持(修繕のみ)

(3)課題・基本方針等

基本方針

- ・赤村役場については、計画期間終盤に建設後50年を迎えること、村のシンボルとなる施設であるため、目標使用年度よりも先に更新する予定としています。 規模については現状同程度での更新としていますが、実際に建て替えを実施する時期の職員数や余剰スペースの有無によって変化することが考えられます。
- ・各分団の消防格納庫については防災の面で必要であることから原則同程度で の更新としています。

第1分団の格納庫は計画期間中に使用目標年度を迎えることから更新を検討します。第1分団以外は修繕による施設維持を原則とします。

8 公園

施設名		琴弾の	滝公園		所在地	赤	村大字赤18	333	
建物名		公衆便所				総務課			
面積	4.	4. 97 m [*] 構造				木造			
建築	年度	19	98	R2時点約	圣過年数	2	2		
使用目	標年度	20	38	R17時点	経過年数	3			
耐震	基準	新	耐震	診断	-	耐震	工事	-	
経過年数は	- L Z = 17.145		200 m² J	以上の現地	調査による	る評価		重要性	
在週十数1	こよる計画	合計	合計 屋根・屋上 外壁			電気設備	機械設備	里安住	
E	3	_	_	-	_	-	-	В	

施設名		今川	公園		所在地	赤	村大字赤36	320
建物名		公衆便所					総務課	
面積	4.	4. 97 m [*] 構造				木	造	
建築	年度	20	00	R2時点約	圣過年数	2	0	
使用目	標年度	20	2040 R17時			3		
耐震	基準	新	耐震	診断	1	耐震	工事	_
経過年数は	- L Z =亚/东		200 m² J	以上の現地	調査による	る評価		重要性
在迥十致い	こよる計画	合計	合計 屋根·屋上 外壁			電気設備	機械設備	里安は
E	3	_	_	-	-	-	-	В

施設名		戸城山和	森林公園		所在地	赤村:	大字内田40)65-2
建物名		公衆便所				総務課		
面積	(3	m [*]	構造	木造			
建築	年度	19	87	R2時点約	圣過年数	3	3	
使用目	標年度	年度 2027			R17時点経過年数		48	
耐震	基準	新	耐震	診断	-	耐震	工事	_
経過年数は	- L Z =亚/本		200 m² J	以上の現地	調査による	る評価		重要性
在週午数1	- よる計画	+1個 合計 屋根・屋上		外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住
E	3			_	_	_	_	В

施設名	建物名	実施方針	計画期間内の方針
琴弾の滝公園	公衆便所	同規模で更新	維持(修繕のみ)
今川公園	公衆便所	同規模で更新	維持(修繕のみ)
戸城山森林公園	公衆便所	同規模で更新	維持(修繕のみ)

(3)課題・基本方針等

基本方針

・公園内の公衆便所は、原則同規模で更新することを検討しています。また、計画期間内は修繕による維持で長期間使用する方針としています。

公園の在り方によって、廃止する可能性もあります。

9 その他

施設名	旧	第4分団	消防格納	庫	所在地	赤	村大字赤36	663
建物名	旧第4分団 消防		消防格納庫		所管課	総務課		
面積	52.	78	m [*]	構造	構造 コンクリートブロック		7	
建築	年度	19	78	R2時点約	圣過年数	4	2	
使用目	標年度	20	43	43 R17時点		5	7	
耐震	基準	旧	耐震	診断	未済	耐震	エ事	未済
级 '	- L フ = 17./1年		200 m² J	以上の現地	調査による	る評価		重要性
経過年数による評価 ─		合計	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住
	С –		_	-	_	_	_	С

施設名	旧	第5分団	消防格納	庫	所在地	赤木	大字内田	3535
建物名	旧	旧第5分団 消防格		·納庫 所管課		総務課		
面積	52.	78	m [*]	構造	コンクリートブロック			7
建築	年度	19	78	R2時点約	圣過年数	4	2	
使用目	標年度	∓度 204		43 R17時点		57		
耐震	基準	IΒ	耐震診断		未済	耐震	エ事	未済
经, 医生 米里	- L フ = 17.1元		200 m ² .	以上の現地	!調査によ	る評価		重要性
在迥十致い	-よる計画	:る評価 合計 屋根		外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住
(-		_	_	-	_	_	С

施設名	旧	第7分団	消防格納	庫	所在地	赤村	大字内田5	04-1
建物名	旧	旧第7分団 消防格納		庫	所管課 総務課			
面積	52.	78	m [*]	構造	コンクリートブロック		7	
建築	年度	19	78	R2時点約	圣過年数	4	2	
使用目	標年度	票年度 2043		R17時点	経過年数	5	7	
耐震	基準	旧	耐震	診断	未済	耐震	工事	未済
级、点 左 粉 ti	- L Z =亚/本		200 m² J	以上の現地	調査による	る評価		重要性
在週十数八	経過年数による評価 ├		屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住
С		_	_	-	-	-	-	С

施設名		赤村特産物	物センター		所在地	赤村	大字赤59	51-1
建物名	便所棟				所管課	産業建設課		
面積	19 m²			構造	木造			
建築	年度	19	98	R2時点約	圣過年数	圣過年数 22		
使用目	標年度	20	38	R17時点	経過年数	3	37	
耐震	基準	新	耐震	診断	_	耐震	工事	_
4▽ □ /= * b +	- L フミ亚/エ		200 m ² J	以上の現地	調査によ	る評価		手 邢 丛
栓迥牛剱、	数による評価 合計 屋根・屋上		外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	重要性	
E	3			_	-	-	-	A

施設名		赤村特産特	勿センター		所在地	赤木	大字赤595	51-1
建物名		ログハウス棟				産業建設課		
面積	6	8	m [*]	構造	木造			
建築	年度	1998			圣過年数 22			
使用目	標年度	年度 2038			経過年数	3	7	
耐震	基準	新	耐震	診断	_	耐震	工事	-
经净生料。	- L フ = 17./1年		200 m l	以上の現地	調査によ	る評価		重要性
在迥 年数1	-よる計価	よる評価 合計 屋根・屋上		外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住
E	3			-	-	-	-	В

施設名		赤村特産物	勿センター		所在地	赤村	大字赤595	51-1
建物名	特産物販売所棟				所管課	産業建設課		
面積	5	11	m [*]	構造	木造			
建築	年度	19	98	R2時点約	圣過年数	2	2	
使用目	標年度	20	38	R17時点	経過年数	3	7	
耐震	基準	新	耐震	診断	I	耐震	エ事	_
経過年数に	- L Z =亚/本		200 m² J	以上の現地	調査による	る評価		重要性
在週十数、	- よる計画	合計 屋根・屋上		外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住
E	3	75 B		В	В	В	В	A

施設名		赤村特産物	勿センター		所在地	赤村	大字赤59	51-1
建物名	休憩所「とことん」				所管課	管課 産業建設課		
面積	88 m²			構造	木造			
建築	年度	20	09	R2時点系	圣過年数	1	1	
使用目	標年度	20	49	R17時点経過年数		26		
耐震	基準	新	耐震	診断	ı	耐震	工事	_
経過年数に	- L Z = 17.145		200 m² J	以上の現地	調査による	る評価		重要性
在週十数八	こよる計画	合計 屋根・屋上		外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住
ļ ,	A			-	-	-	-	A

施設名		赤村特産物	勿センター		所在地	赤村	大字赤595	51-1
建物名		漬物小屋				所管課 産業建設課		
面積	2	7	m [*]	構造	木造			
建築	年度	20	12	R2時点約	圣過年数	8	8	
使用目	標年度	20	52	R17時点経過年数		23		
耐震	基準	新	耐震	診断	ı	耐震	エ事	_
経過年数は	- L 7 = 17 / 12		200 m ² J	以上の現地	調査によ	る評価		重要性
在四十数1	- よる計画	合計 屋根・屋上		外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安は
-	A – –		_	1	1	1	1	A

施設名		赤村特産物	勿センター		所在地	赤木	大字赤59	51-1
建物名		身障者トイレ				産業建設課		
面積	5.	85	m [*]	構造	鉄筋コンクリート			
建築	年度	20	03	R2時点約	圣過年数	1	7	
使用目	標年度	20	68	R17時点	<mark>:点経過年数</mark> 32			
耐震	基準	新	耐震	診断	1	耐震	エ事	_
奴 海左粉1:	- L Z = 17.145		200 m² J	以上の現地	調査による	る評価		重要性
経過年数日	こよる計画	計価 合計 屋根・屋上		外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安は
ļ	A			ı	ı	_	-	A

施設名		赤村特産物	物センター		所在地	赤村	大字赤595	51-1
建物名		農と食の	の交流館		所管課	j	産業建設課	ļ.
面積	148 m²			構造	木造			
建築	年度	20	04	R2時点約	圣過年数	1	6	
使用目	標年度	20	44	R17時点経過年数 31			1	
耐震	基準	新	耐震	診断	_	耐震	工事	_
经证标制	- L フ = 17/14		200 m² J	以上の現地	調査による	る評価		表面
経過年数日	こよる評価	合計 屋根・屋上		外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	重要性
,	1			-	_	_	-	В

65-2	大字赤486	赤木	所在地	油須原駅便所			施設名	
	総務課		所管課		所	便		建物名
	クリート	鉄筋コン		6 m [°] 構造			1	面積
	1	2	圣過年数	1999 R2時点経過年数		19	年度	建築
	6	3	64 R17時点経過年数		64	20	標年度	使用目
-	エ事	耐震	_	耐震診断		新	基準	耐震
- 重要性		る評価	調査によ	以上の現地	200 m².		- L フ = 11/11	经 、图 左 ₩1
	機械設備	電気設備	内部仕上げ	外壁	屋根・屋上	合計	こよる評価	栓迥 牛数Ⅰ
A	_	_	_	_	_	_	3	F
1			I	1	I			

施設名	源じいの森駅便所			所在地	赤木	大字赤693	33-1	
建物名		便	所		所管課		総務課	
面積	į	5	m [*]	構造		木	造	
建築	年度	19	94	R2時点約	圣過年数	2	6	
使用目	標年度	20	34	4 R17時点経過年数		41		
耐震	基準	新	耐震診断		_	耐震	エ事	_
経過年数に			200 m² J	以上の現地	調査によ	る評価		重要性
在週十数八	こよる計画	合計	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	里安住
E	3	_	_	_	ı	_	-	A

施設名	建物名	実施方針	計画期間内の方針
旧第4分団 消防格納庫	旧第4分団 消防格納庫	廃止	廃止
旧第5分団 消防格納庫	旧第5分団 消防格納庫	廃止	廃止
旧第7分団 消防格納庫	旧第7分団 消防格納庫	廃止	廃止
赤村特産物センター	便所棟	他施設と集約化	更新
赤村特産物センター	ログハウス棟	廃止	廃止
赤村特産物センター	特産物販売所棟	同規模で更新	更新
赤村特産物センター	赤村特産物センター 休憩所「とことん」		維持(大規模改修等)
赤村特産物センター	漬物小屋	同規模で更新	維持(修繕のみ)
赤村特産物センター	身障者トイレ	他施設と集約化	更新
赤村特産物センター	農と食の交流館	他施設と集約化	維持(修繕のみ)
油須原駅便所	便所	同規模で更新	維持(修繕のみ)
源じいの森駅便所	便所	同規模で更新	維持(修繕のみ)

(3)課題・基本方針等

課題

・旧消防格納庫は耐震対策を実施していない施設であるため、安全面で問題があります。

基本方針

- ・旧消防格納庫は安全が確保できなくなった時点で廃止する方針です。
- ・特産物センター及び付随施設については、唯一の農産物直売施設であり、類似機能を有する施設は現時点で存在していないため、全て廃止することはありませんが、ログハウス棟については廃止する方針です。その他計画期間内では、休憩所を大規模改修する方針としています。

また、特産物センターのトイレについては令和2年度中に更新しています。

第4章 計画期間内における対策費用の試算

1 対策費用の算定方法

「第3章 施設類型別の個別施設計画表」(2) 今後の方針一覧表の「計画期間内の方針」をもとに更新、維持(大規模改修)、維持(修繕のみ)、廃止を反映させた計画期間内に係る費用の算定をしています。算出方法については以下の方法とします。

①修繕・更新等に係る費用の算出方法

区分	算出方法
更新	総務省の「公共施設等更新費用試算ソフト」で採用
	されている単価を用い試算しました。単価については
	表5に記載しています。
維持(大規模改修)	総務省の「公共施設等更新費用試算ソフト」で採用
	されている単価を用い試算しました。単価については
	表5に記載しています。
維持(修繕のみ)	過去10年の執行データより修繕に該当するデー
	タを抜き出し、施設類型ごとに累計金額と対象施設の
	面積により、面積単価を算出しています。また、計画
	期間が16年であるため、
	(式)施設類型別修繕費単価×面積×1.6
	としています。各単価については表6に記載していま
	す。
廃止	廃止の場合でも、一定期間は修繕が発生する可能性
	があることを勘案して、修繕費を算出しています。
	期間の中間で廃止すると仮定して、維持(修繕のみ)
	の半分の期間で算出しています。
	(式)施設類型別修繕費単価×面積×0.8
譲渡	産業系施設で譲渡予定がありますが、令和15年以
	降に譲渡予定であることから、維持(修繕のみ)と同
	じ計算方法により算定しています。

表 5 「公共施設等更新費用試算ソフト」単価表

施設類型	大規模改修	建替え
村民文化系施設	25 万円/㎡	40 万円/㎡
社会教育系施設	25 万円/㎡	40 万円/㎡
スポーツ・レクリエーション系施設	20 万円/㎡	36 万円/㎡
産業系施設	25 万円/㎡	40 万円/㎡
学校教育系施設	17 万円/㎡	33 万円/㎡
保健・福祉施設	20 万円/㎡	36 万円/㎡
行政系施設	25 万円/㎡	40 万円/㎡
公園	17 万円/㎡	33 万円/㎡
その他	20 万円/㎡	36 万円/㎡

表 6 施設類型別修繕費単価算定表

施設類型	修繕費(円)	面積(※1)	単価
村民文化系施設	27, 122, 457	3849. 26	7, 046 円/㎡
社会教育系施設(※2)	ı	ı	_
スポーツ・レクリエーション系			
施設	84, 183, 485	6268. 48	13, 430 円/㎡
産業系施設	640, 712	2207	290 円/㎡
学校教育系施設	96, 945, 436	10055. 9	9, 641 円/㎡
保健・福祉施設	1, 264, 290	377. 01	3, 353 円/㎡
行政系施設	17, 885, 504	1763. 1	10, 144 円/㎡
公園 (※3)	-	_	13, 430 円/㎡
その他	6, 084, 009	799. 85	7, 606 円/㎡

^(※1) 面積については、修繕費が発生した物件のみを対象としているため、各施設分類の面積合計とは一致しません。

2 対策費用の見込算定

(1)対策費用の見込み算定

「1 対策費用の算定方法」により算定、決定した単価により施設類型毎に計画期間内(令和2年から令和17年まで)の対策費用を概算で算定しました。

^(※2) 社会教育系施設は更新を基本とするため、単価算定を実施していません。

^(※3) 公園については修繕費が出ていないため、スポーツ・レクリエーション施設と同等の単価を使用しています。

①村民文化系施設

施設名	建物名	面積(㎡)	計画期間内の方針	費用 (千円)
浦山集会所	浦山集会所	89	維持(修繕のみ)	1, 003
上赤浦田集会所	上赤浦田集会所	88. 35	維持(修繕のみ)	996
合田地区集会所	合田地区集会所	142. 2	維持(修繕のみ)	1, 603
柳場地区集会所	柳場地区集会所	118. 2	維持(修繕のみ)	1, 333
畑地区集会所	畑地区集会所	117. 29	維持(修繕のみ)	1, 322
伏原集会所	伏原集会所	104. 88	維持(修繕のみ)	1, 182
山渋集会所	山渋集会所	132	維持(修繕のみ)	1, 488
小柳団地集会所	小柳団地集会所	66. 25	維持(修繕のみ)	747
小柳地区集会所(県道沿い)	小柳地区集会所(県道沿い)	70. 6	維持(修繕のみ)	796
小内田多目的集会所	小内田多目的集会所	220. 14	更新	88, 056
見取集会所	見取集会所	139. 45	維持(修繕のみ)	1, 572
上赤集会所	上赤集会所	273. 12	更新	109, 248
後山集会所	後山集会所	150	維持(修繕のみ)	1, 691
外山団地集会所	外山団地集会所	99. 37	維持(修繕のみ)	1, 120
月見ガ丘団地集会所	月見ヶ丘団地集会所	99. 37	維持(修繕のみ)	1, 120
相模団地集会所	相模団地集会所	111. 49	維持(修繕のみ)	1, 257
前ガ原教育集会所	前ガ原教育集会所	132	廃止	744
地蔵の木珠数丸集会所	地蔵の木珠数丸集会所	155. 16	維持(修繕のみ)	1, 749
横通り・大原集会所	横通り・大原集会所	132. 7	維持(修繕のみ)	1, 496
下赤集会所	下赤集会所	257. 62	維持(修繕のみ)	2, 904
前ガ原集会所	前ガ原集会所	230. 12	維持(修繕のみ)	2, 594
住民センター	集会所	1657. 34	更新	662, 936
住民センター	機械室(棟)	123	更新	49, 200
住民センター	研修室	283	更新	113, 200
大内田研修センター	大内田研修センター	208. 37	維持(修繕のみ)	2, 349

合計 1,051,706

②社会教育系施設

施設名	建物名	面積	計画期間内の方針	費用 (千円)
赤村住民センター	図書室	117	更新	46, 800

合計 46,800

③スポーツ・レクリエーション系施設

施設名	建物名	面積	計画期間内の方針	費用 (千円)
健康増進センター	健康増進センター	1217	更新	438, 120
コミュニティ広場	休憩棟	64	更新	23, 040
コミュニティ広場	倉庫	5	更新	1, 800
コミュニティ広場	公衆便所	38	更新	13, 680
コミュニティ広場	屋外倉庫	98. 69	更新	35, 528
楠の木運動公園	倉庫	22	更新	7, 920
楠の木運動公園	便所	4	更新	1, 440
楠の木運動公園	休憩室(更衣室)	18	更新	6, 480
源じいの森	都市交流センター『ほたる館』	1378	維持(修繕のみ)	29, 610
源じいの森	光の塔	43	維持(修繕のみ)	924
源じいの森	多目的ホール	228	維持(修繕のみ)	4, 899
源じいの森	定住促進センター	368	維持(修繕のみ)	7, 908
源じいの森	ログハウス	111	維持(修繕のみ)	2, 385
源じいの森	ログハウス	111	維持(修繕のみ)	2, 385
源じいの森	ガーデンホーム	78	維持(修繕のみ)	1, 676
源じいの森	レクリエーション休憩施設	132	維持(修繕のみ)	2, 836
源じいの森	倉庫	48	維持(修繕のみ)	1, 031
源じいの森	便所	20	維持(修繕のみ)	430
源じいの森	シャワー室	40	維持(修繕のみ)	860
源じいの森	作業棟	21	維持(修繕のみ)	451
源じいの森	簡易作業棟	30	維持(修繕のみ)	645
バンブーシャワーガーデン	ふるさとセンター	2324. 23	維持(修繕のみ)	49, 943
バンブーシャワーガーデン	民芸館	359	維持(修繕のみ)	7, 714
バンブーシャワーガーデン	井水滅菌室	14	維持(修繕のみ)	301
グリーンシャワーガーデン	ログハウス	142	維持(修繕のみ)	3, 051
グリーンシャワーガーデン	ポンプ小屋	6	維持(修繕のみ)	129
グリーンシャワーガーデン	バンガローA棟	16	維持(修繕のみ)	344
グリーンシャワーガーデン	バンガローB棟	16	維持(修繕のみ)	344
グリーンシャワーガーデン	バンガローC棟	17	維持(修繕のみ)	365
グリーンシャワーガーデン	バンガローD棟	16	維持(修繕のみ)	344
グリーンシャワーガーデン	バンガローE棟	25	維持(修繕のみ)	537
グリーンシャワーガーデン	バンガローF棟	16. 56	維持(修繕のみ)	356
グリーンシャワーガーデン	バンガローG棟	16	維持(修繕のみ)	344
グリーンシャワーガーデン	バンガローH棟	16. 56	維持(修繕のみ)	356
グリーンシャワーガーデン	バンガロー【棟	25	維持(修繕のみ)	537
グリーンシャワーガーデン	バンガローJ棟	25	維持(修繕のみ)	537
グリーンシャワーガーデン	簡易作業施設	30	維持(修繕のみ)	645
グリーンシャワーガーデン	便所	15	更新	5, 400

合計 655, 295

④産業系施設

施設名	建物名	面積	計画期間内の方針	費用 (千円)
共同育苗施設	作業室棟	1041	維持(修繕のみ)	483
農畜産物処理加工施設	榖類乾燥施設	711	譲渡	330
農畜産物処理加工施設	倉庫	85	譲渡	39
米麦共同乾燥調製施設	共同作業所	1411	維持(修繕のみ)	655

合計 1,507

⑤学校教育系施設

施設名	建物名	面積	計画期間内の方針	費用 (千円)
赤小学校	校舎	2955	維持(修繕のみ)	45, 583
赤小学校	機械棟	49	維持(修繕のみ)	756
赤小学校	倉庫 (屋内相撲場横)	52	維持(修繕のみ)	802
赤小学校	便所 (運動場内)	19	廃止	147
赤小学校	屋内運動場	1323	維持(修繕のみ)	20, 408
赤小学校上赤分校	校舎	365	更新	120, 450
赤中学校	校舎	1870	維持(修繕のみ)	28, 846
赤中学校	校舎(特別教室)	365	維持(修繕のみ)	5, 630
赤中学校	屋内運動場	1738	維持(修繕のみ)	26, 810
赤中学校	校舎(技術・家庭科室)	257	維持(修繕のみ)	3, 964
赤中学校	倉庫 (ポンプ小屋)	6	廃止	46
共同給食センター	ランチルーム・厨房棟	1056. 9	更新	348, 777

合計 602, 219

⑥保健·福祉施設

施設名	建物名	面積	計画期間内の方針	費用 (千円)
高齢者能力活用センター	高齢者能力活用センター(赤駅含む)	182. 98	維持(修繕のみ)	982
保健センター	保健センター	986. 4	維持(修繕のみ)	5, 292
高齢者ふれあいセンター	高齢者ふれあいセンター	78. 8	廃止	211
赤村人権福祉センター	赤村人権福祉センター	299. 51	維持(修繕のみ)	1, 607
合田地区納骨堂	合田地区納骨堂	36	維持(修繕のみ)	193
前ガ原地区納骨堂	前ガ原地区納骨堂	36	維持(修繕のみ)	193
柳場地区納骨堂	柳場地区納骨堂	16. 5	維持(修繕のみ)	89
伏原地区納骨堂	伏原地区納骨堂	25	維持(修繕のみ)	134
山渋地区納骨堂	山渋地区納骨堂	16. 5	維持(修繕のみ)	89
浦山地区納骨堂	浦山地区納骨堂	36	維持(修繕のみ)	193

合計 8,983

⑦行政系施設

施設名	建物名	面積	計画期間内の方針	費用 (千円)
赤村役場	庁舎	1284. 19	更新	513, 676
赤村役場	倉庫	306	更新	122, 400
赤村役場	倉庫	23. 88	更新	9, 552
赤村役場	倉庫	99	更新	39, 600
赤村役場	災害備蓄倉庫	350	維持(修繕のみ)	5, 681
第1分団 消防格納庫	第1分団 消防格納庫	53. 82	更新	21, 528
第2分団 消防格納庫	第2分団 消防格納庫	75. 53	維持(修繕のみ)	1, 226
第4分団 消防格納庫	第 4 分団 消防格納庫	75. 53	維持(修繕のみ)	1, 226
第5分団 消防格納庫	第5分団 消防格納庫	75. 53	維持(修繕のみ)	1, 226
第6分団 消防格納庫	第6分団 消防格納庫	50. 03	維持(修繕のみ)	812
第7分団 消防格納庫	第7分団 消防格納庫	75. 53	維持(修繕のみ)	1, 226

合計 718, 153

8公園

施設名	建物名	面積	計画期間内の方針	費用 (千円)
琴弾の滝公園	公衆便所	4. 97	更新	107
今川公園	公衆便所	4. 97	更新	107
戸城山森林公園	公衆便所	6	更新	129

合計 343

9その他

施設名	建物名	面積	計画期間内の方針	費用(千円)
旧第4分団 消防格納庫	旧第4分団 消防格納庫	52. 78	廃止	321
旧第5分団 消防格納庫	旧第5分団 消防格納庫	52. 78	廃止	321
旧第7分団 消防格納庫	旧第7分団 消防格納庫	52. 78	廃止	321
赤村特産物センター	便所棟	19	更新(令和2年度更新)	0
赤村特産物センター	ログハウス棟	68	廃止	414
赤村特産物センター	特産物販売所棟	511	更新	183, 960
赤村特産物センター	休憩所「とことん」	88	維持(大規模改修等)	17, 600
赤村特産物センター	漬物小屋	27	維持(修繕のみ)	329
赤村特産物センター	身障者トイレ	5. 85	更新(令和2年度更新)	0
赤村特産物センター	旧農と食の交流館	148	維持(修繕のみ)	1, 801
油須原駅便所	便所	16	維持(修繕のみ)	195
源じいの森駅便所	便所	5	維持(修繕のみ)	61

合計 205,323

施設類型ごとの費用一覧は以下の通りとなります。

施設類型	計画期間内の対策費用(千円)
村民文化系施設	1, 051, 706
社会教育系施設	46, 800
スポーツ・レクリエーション系施設	655, 295
産業系施設	1, 507
学校教育系施設	602, 219
保健福祉施設	8, 983
行政系施設	718, 153
公園	343
その他	205, 323
合計	3, 290, 329

(2)「公共施設等更新費用試算ソフト」による費用算定と比較

総務省の「公共施設等更新費用試算ソフト」を使用し、30年経過した資産は大規模改修、60年経過した資産は建替えを実施するといった、単純更新時の費用を算出した場合は以下の通りとなります。

条件(1)

大規模改修	30年	建替え	60 年
すでに 30 年経過している資		すでに60年経過している資産	
産の大規模改修の処理	20 年	の建替え処理	20 年

条件②

単価については62ページ、表5を使用します。

施設類型	計画期間内の対策費用 (千円)
村民文化系施設	856, 434
社会教育系施設	29, 250
スポーツ・レクリエーション系施設	1, 394, 220
産業系施設	723, 813
学校教育系施設	1, 894, 803
保健福祉施設	355, 528
行政系施設	405, 924
公園	2, 455
その他	177, 321
合計	5, 839, 747

第5章 継続的運用方針

1 情報基盤の整備と活用

所管課ごとに管理されている建築物の基本情報、維持管理費、修繕履歴等の情報について施設カルテを活用した一元管理を推進します。施設カルテは、毎年度の更新を基本とすることで、最新の施設情報を効率的に活用できる環境を整備します。また、令和3年度に実施する赤村公共施設等総合管理計画の改定に伴い、施設カルテの基本部分を整備し、情報収集を行っていきます。

また、計画的に保全を進めていく上では、建築物の老朽化や不具合の状況を把握することが重要となることから、マニュアルに基づく劣化状況調査及び劣化度評価を定期的に実施し、建築物の現状把握に努めるとともに、その結果を本計画にフィードバックすることで、計画の精緻化を図ります。

2 推進体制の整備

計画の見直しを実施する際は必要に応じて公共施設に係る検討委員会を設立して、全庁的な体制を構築します。

また、日常の施設管理の質を向上するため、専門業者による定期的な巡回点検や各種報告書を活用して不具合箇所の早期把握と対応を図ります。

3 フォローアップ

フォローアップについては、赤村公共施設等総合管理計画に沿って実施します。

公会計制度で作成する固定資産台帳を利活用し、継続的に公共施設等の把握に 努めていきます。

さらに、計画期間中であっても、今回の公共施設等総合管理計画で示した「公 共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針」や「施設類型ごとの 管理に関する基本的な方針」に関する進捗状況について、評価を適宜実施し、必 要に応じて目標の設定や方針の見直しを行っていきます。

公共施設等総合管理計画を踏まえた個別施設計画などの策定又は公共施設等の適正な配置については、村民や議会との協議を行った上で、情報提供を行います。また、これらの項目について村全体で情報の共有化を図っていきます。

ただし、行政サービス水準を落とさないような施設配置が必要であることに留意して、今後の公共施設等の管理を行っていきます。

※赤村公共施設等総合管理計画 第6章より抜粋